

(1) 市内路線バスの次年度運行について

① 地域間幹線系統確保維持事業（国庫補助路線）

事業者より令和9年度の乗合バス路線の運行について、単独継続困難の申出あり。

番号	事業者	系統名 (路線名)	運行系統			系統 キロ程 (km)	運行 回数 (回/日)	運行時間帯 (修善寺駅発)	備考
			起 点	経過地	終 点				
1	株東海バス	修善寺・戸田線	修善寺駅	虹の郷	戸田	24.9	7.0	8:02~18:50	
2	株東海バス	西海岸線	修善寺駅	土肥温泉	松崎	54.4	13.6	7:15~20:05	
3	株東海バス	天城峠	修善寺駅	天城峠	河津駅	41.4	7.0	8:15~15:20	
4	株東海バス	天城峠	修善寺駅	天城峠	下田駅	45.2	3.0	10:55~16:00	

※関係市町においても同様に公共交通会議にて審議。

(市としての見解)

当該路線は、市外との往来だけでなく、通勤・通学・通院等の地域住民の足として利用されている重要な路線であり、市としても運行継続が必要と考えている。

市としても運行継続を図るため利用促進の取組を継続して行う。

② 事業者運行路線（単独継続困難）

事業者より令和8年度の乗合バス路線の運行について、単独継続困難の申出あり。

番号	事業者名	系統名 (路線名)	運行系統			系統 キロ程 (km)	運行 回数 (回/日)	運行時間帯	備考
			起 点	経過地	終 点				
1	株東海バス	松崎・馬場線	松崎		馬場	29.0	0.2	6:25	

(市としての見解)

当該路線は、松崎町から西伊豆町を経由し土肥地区の馬場まで結ぶ路線であり、朝の通学として小中学生が利用している路線であり、伊豆市区間の乗降数は多いため、運行を維持していただきたい。維持の方法としては東海バス様と協議していく。

③ 自主運行バス

伊豆市より令和8年度の自主運行事業について申出。

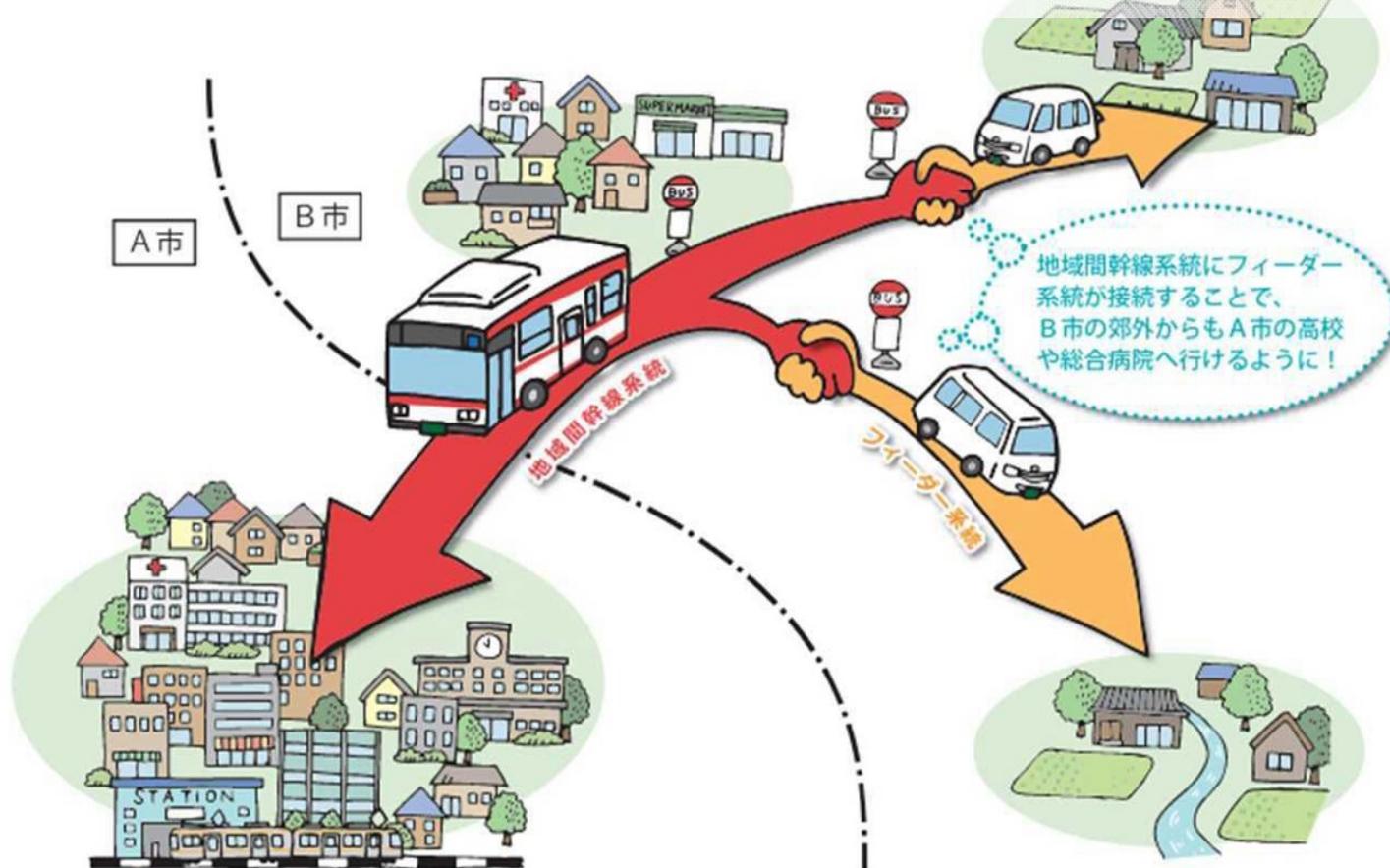
番号	系統名 (路線名)	運行系統			系統 キロ程 (km)	運行回数 (回／日)	運行時間帯 (修善寺駅発)
		起 点	経過地	終 点			
1	修善寺・天城の杜線	修善寺駅	本立野	天城の杜	16.9	5.0	6:22～19:00
2	修善寺・持越温泉線	修善寺駅	本立野	持越温泉	19.5	1.5	17:40
3	修善寺・持越温泉線	修善寺駅	吉奈温泉	持越温泉	21.7	1.0	15:40
4	修善寺・湯ヶ島温泉線	修善寺駅	本立野	湯ヶ島温泉	14.7	3.0	7:10～18:35
5	修善寺・湯ヶ島温泉線	修善寺駅	吉奈温泉	湯ヶ島温泉	16.9	1.5	12:45
6	修善寺・湯ヶ島線	修善寺駅	本立野	湯ヶ島	12.5	1.5	16:00～19:45
7	修善寺・柿木大野線	修善寺駅	日向	柿木大野	13.3	3.3	14:35～18:10
8	天城小学校・長野線	天城小学校	田沢	長野	8.2	1.1	14:55～15:55
9	修善寺・上大沢線	修善寺駅	牧之郷	上大沢	9.8	1.1	6:30～15:55
10	ひなた公園・上大沢線	ひなた公園	修善寺駅・牧之郷	上大沢	11.2	0.7	16:45
11	修善寺・熊坂線	修善寺駅	牧之郷	熊坂	4.6	1.5	12:00～15:05
12	修善寺・紙谷公会堂線	修善寺駅	小山	紙谷公会堂	4.6	2.0	6:17～18:38
13	ひなた公園・紙谷公会堂線	ひなた公園	修善寺駅・小山	紙谷公会堂	6.0	0.5	16:27
14	修善寺・紙谷公会堂線	修善寺駅	寺山口	紙谷公会堂	4.8	2.0	6:35～18:56
15	ひなた公園・紙谷公会堂線	ひなた公園	修善寺駅・寺山口	紙谷公会堂	6.2	0.5	7:18
16	修善寺・馬渡橋線	修善寺駅		馬渡橋	4.9	3.5	7:01～16:05
17	ひなた公園・馬渡橋線	ひなた公園	修善寺駅	馬渡橋	6.3	0.5	16:43
18	修善寺・下尾野口線	修善寺駅	冷川	下尾野口	10.4	0.3	6:35
19	修善寺・下尾野口線	修善寺駅	中伊豆温泉病院・冷川	下尾野口	10.7	4.7	8:22～19:25
20	修善寺・下尾野口線	下尾野口	小川橋	修善寺駅	13.0	0.6	7:02
21	修善寺・伊東線	修善寺駅	中伊豆温泉病院・冷川	伊東駅	13.7	2.0	11:40～13:15
22	修善寺・温泉病院線	修善寺駅	小川橋	中伊豆温泉病院	5.6	5.5	8:00～16:48
23	中伊豆線	修善寺駅	地蔵堂	筏場	12.8	0.5	6:49
24	中伊豆線	修善寺駅	中伊豆温泉病院・地蔵堂	筏場	13.1	2.9	13:50～17:20
25	中伊豆線	修善寺駅	中伊豆温泉病院・貴僧坊	筏場	13.1	2.9	9:00～15:40
26	中伊豆線	修善寺駅	伊豆中学校・貴僧坊	筏場	14.5	0.5	7:19
27	中伊豆線	修善寺駅	地蔵堂・筏場	姫之湯下	15.3	0.3	6:05
28	中伊豆線	修善寺駅	中伊豆温泉病院・地蔵堂・筏場	姫之湯下	15.6	0.5	18:30
29	中伊豆線	修善寺駅	伊豆中学校・地蔵堂・筏場	姫之湯下	17.0	0.3	6:55

令和7年度 地域間幹線系統に関する事業評価

静岡県交通基盤部都市局地域交通課

地域間幹線系統とは

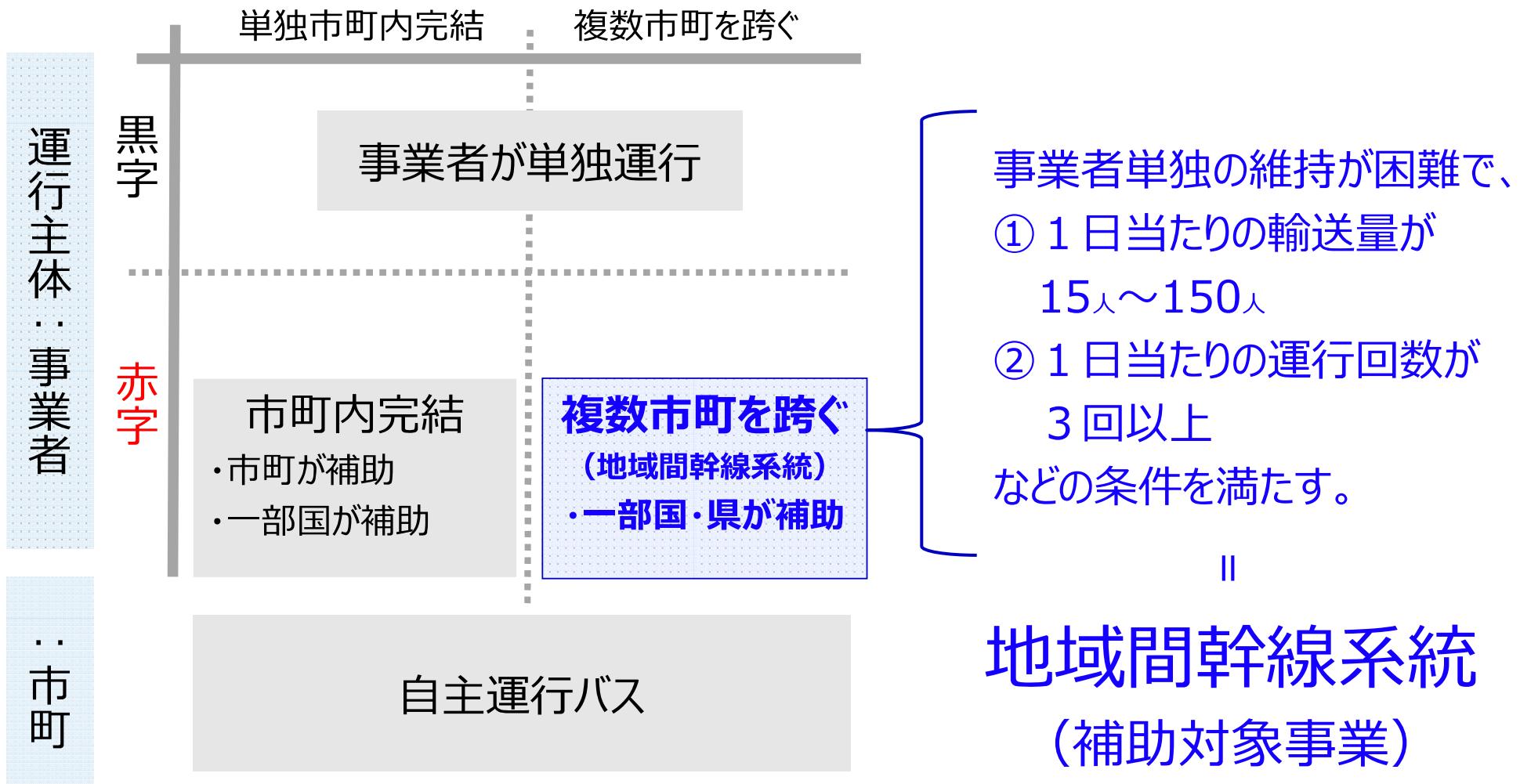
日常生活における通勤、通学、通院の流动実態等から、結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏**として設定。（出典：中部運輸局「中部の交通圏」）
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動**を支える一つの手段が「**地域間幹線系統**」です。



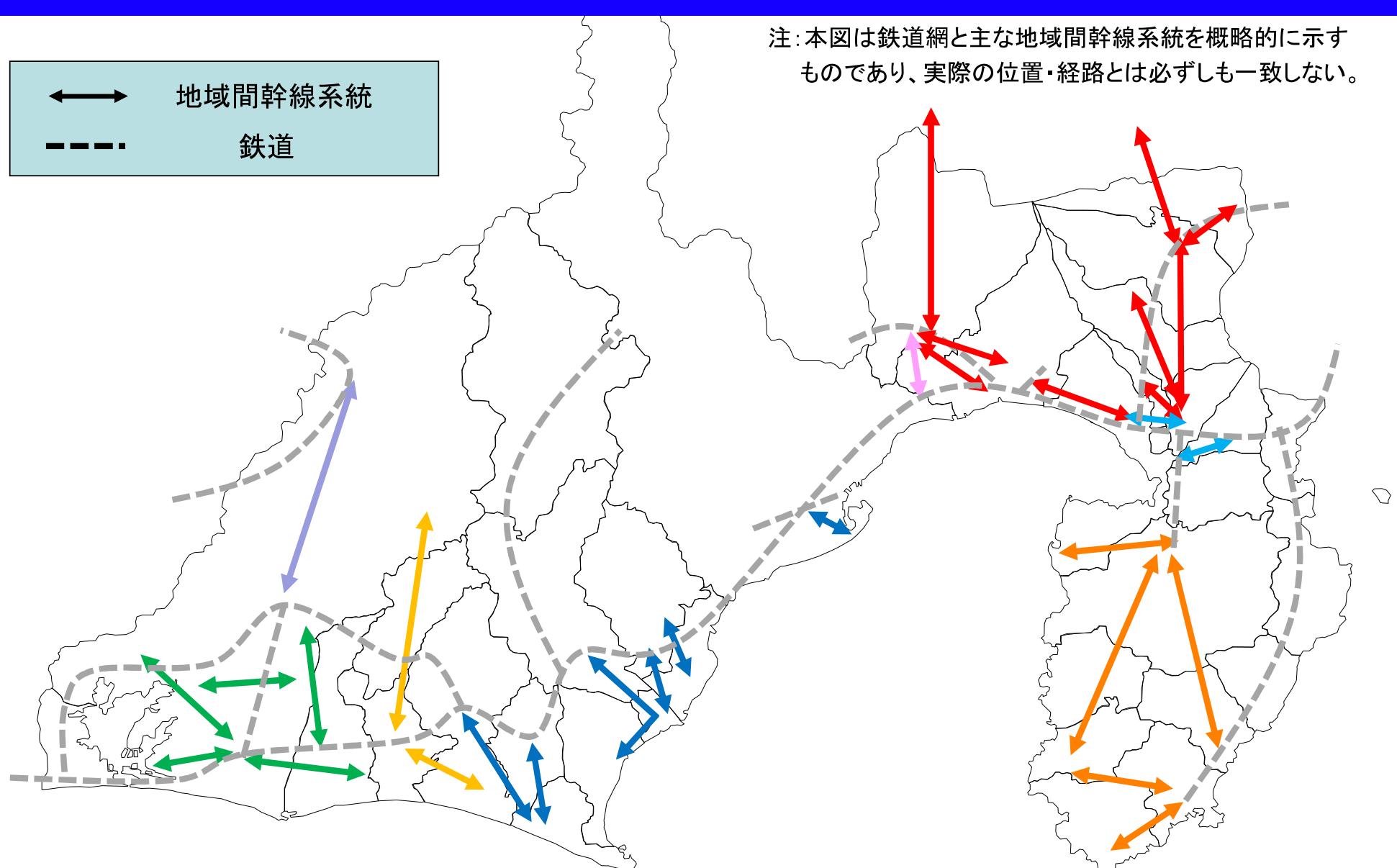
出典: 地域間幹線バスが地域で役立つようにするために(監修:中部運輸局)

地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



県内の地域間幹線系統(概略図)



地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

- 補助対象事業が適切に行われているか確認する
 - 評価結果を分析し、事業改善に繋げる
- 補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため

(参考)事業評価実施の根拠

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

第3条

5 協議会*は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

*本県においては県地域公共交通活性化協議会バス専門部会を指す。

静岡県の地域間幹線系統評価基準

次の項目を点数化し、合計点をA・B・C・Dで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	実績値（補助要件を満たしているか）	3回/日以上：10点 3回/日未満：0点
②輸送量	実績値（補助要件を満たしているか）	20人/日以上：30点 15人/日以上20人/日未満：5点 15人/日未満：0点
③収支率	実績値	50%以上：20点（満点）、25%未満：3点 25%～50%は3～6点を加算
④乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：20点（満点）、0～5%増：15点、 0～5%減：6点、5%以上減：3点
⑤ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑥広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	50%以上：10点（満点） 5%未満：0点（5%毎に2～3点加算）
合 計		A評価：86点以上 B評価：66～85点 C評価：51～65点 D評価：50点以下

令和7年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	D評価	系統数
山梨交通				1	1
秋葉バスサービス	2	1	1		4
遠州鉄道	5	9		2	16
しづてつジャストライン	4	5	1	1	11
富士急モビリティ	1	3			4
富士急バス	2				2
富士急静岡バス	1	3			4
富士急シティバス	2	4			6
伊豆箱根バス	2	1			3
東海バス	4	4			8
合 計	23	30	2	4	59

評価結果内訳

○事業者ごとの系統別の評価

	事業者名	系統名	R 6	R 7	比較
1	山梨交通	富士宮駅～イオン、星山台～蒲原病院	C	D	△
2	秋葉バス サービス	秋葉線	D	C	○
3		秋葉中遠線	A	A	—
4		秋葉中遠線	A	A	—
5		秋葉中遠線	B	B	—
6	遠州鉄道	浜北医大三方原聖隸線	B	B	—
7		磐田市立病院福田線	A	B	△
8		中ノ町磐田線	B	A	○
9		秋葉線	B	D	△
10		磐田天竜線	A	B	△
11		磐田天竜線	B	B	—
12		掛塚さなる台線	A	A	—
13		内野台線	A	B	△
14		内野台線	B	A	○
15		磐田市立病院福田線	D	D	—
16		引佐線	A	A	—
17		萩丘都田線	A	B	△
18		大塚ひとみヶ丘線	A	B	△
19		気賀三ヶ日線	A	B	△
20		奥山線	A	B	△
21		掛塚さなる台線	A	A	—

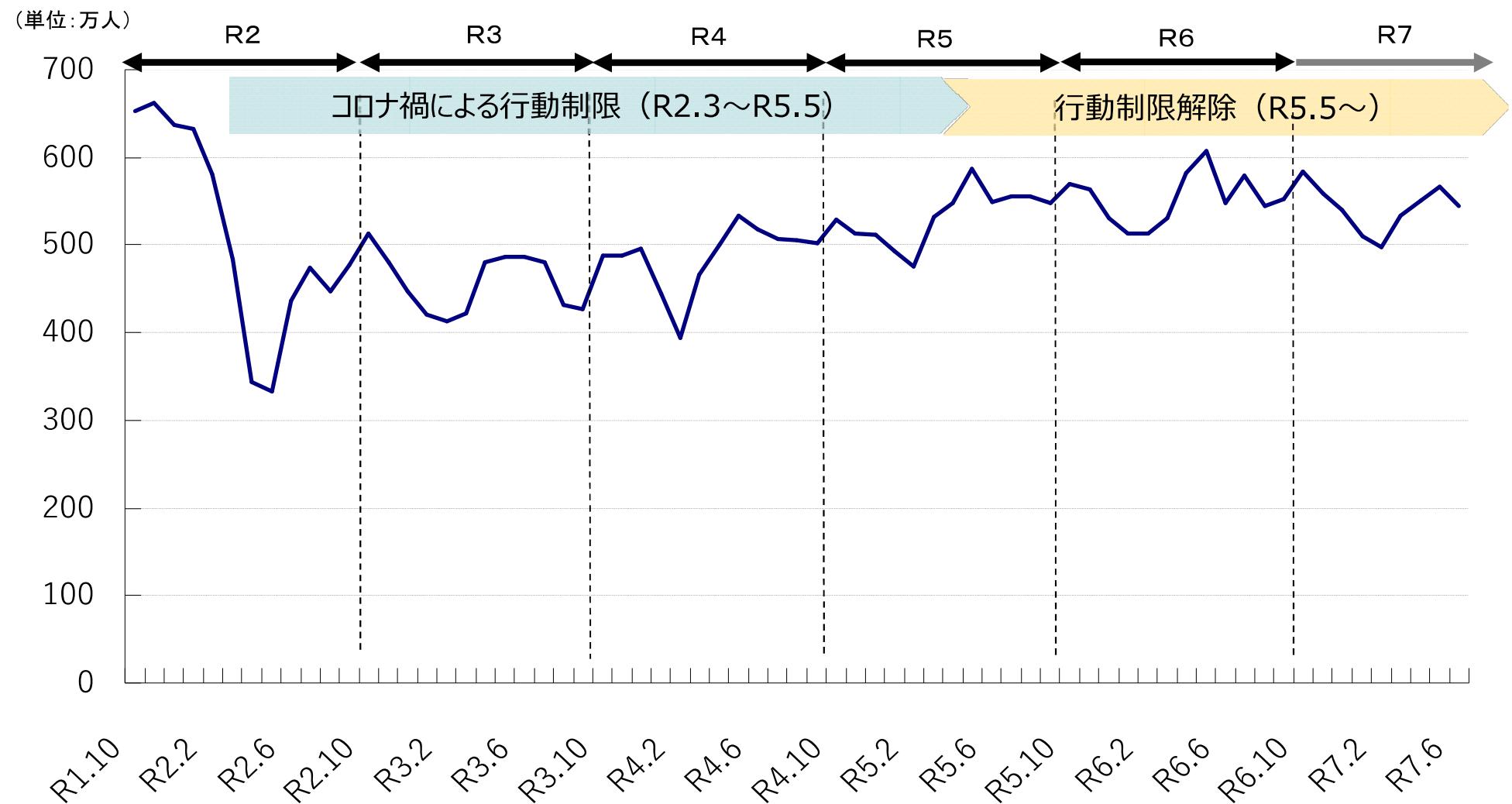
	事業者名	系統名	R 6	R 7	比較
22	しづてつ ジャストライ ン	三保草薙線	B	A	○
23		五十海大住線	B	A	○
24		焼津岡部線	B	A	○
25		藤枝吉永線	A	B	△
26		島田静波線	A	D	△△
27		島田静波線	B	B	—
28		藤枝相良線	B	B	—
29		菊川浜岡線	A	B	△
30		掛川大東浜岡線	A	B	△
31		掛川大東浜岡線	B	A	○
32		掛川大東浜岡線	D	C	○
33	富士急 モビリ ティ	御殿場線	A	B	△
34		駿河小山線	A	B	△
35		十里木線	A	B	△
36		河口湖線	A	A	—
37	富士急バス	河口湖線	A	A	—
38		新富士線	A	A	—
39	富士急 静岡バス	曾比奈線	C	B	○
40		大渕線	C	B	○
41		大月線	A	A	—
42		大月線	B	B	—

	事業者名	系統名	R 6	R 7	比較
43	富士急 シティバ ス	駿河平線	B	B	—
44		須山線	B	B	○
45		原線	B	B	—
46		桜堤線	B	B	○
47		がんセンター線	B	A	○
48		がんセンター線	B	A	—
49	伊豆箱根 バス	沼津大岡三島線	A	A	—
50		長岡伊豆三津シーパラダイス線	B	A	○
51		沼津静浦長岡線	B	B	—
52	東海バス	石廊崎線	A	A	—
53		天城峠線	A	B	△
54		戸田線	A	B	△
55		西海岸線	A	A	—
56		バサラ峠線	A	B	△
57		バサラ峠線	A	B	△
58		下賀茂線	A	A	—
59		柿田線	B	A	○

※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

〈参考〉県内の乗合バス利用者の推移

(R1.10～R7. 6)



(静岡県地域交通課調査)

燃料価格など物価高騰の影響①

■ 県内の軽油小売価格の推移 (R1.10～R7.10)

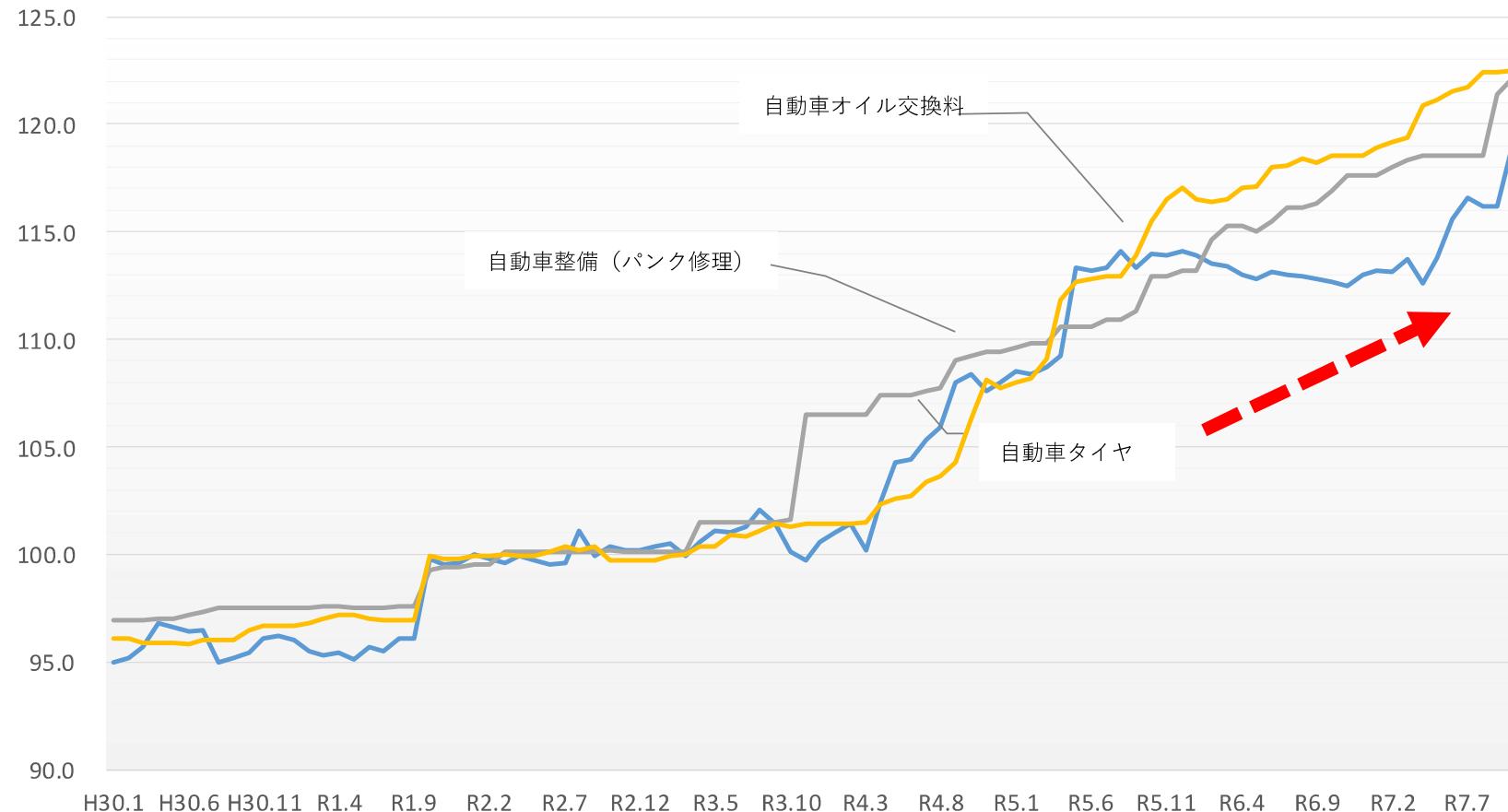


(資源エネルギー庁調査をもとに県地域交通課作成)

燃料価格など物価高騰の影響②

■車両維持費の推移 (H30.1～R7.10)

(物価指数 : 2020年=100)



(2020年基準消費者物価指数を元に県地域交通課作成)

事業者による取組の例

区分	事例
費用削減策	<ul style="list-style-type: none">・エコドライブ取組強化期間の設定・デジタルタコグラフを活用した指導で燃料費を抑制・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制)・EVバスの導入による動力費の削減
利用促進策	<ul style="list-style-type: none">・バスロケーションシステムの導入・スマホ定期券の販売を開始・キャッシュレス決済機器の導入・市町と連携したバスの乗り方教室の実施・HPの多言語化によるインバウンド客の利用促進

県内自治体による支援の事例

区分	事例
利用促進策	<ul style="list-style-type: none">・公共交通利用券の配布・バスの日イベントの実施・バスロケーションシステム導入費用の補助・キャッシュレス決済機器導入費用の補助・小学生を対象にしたバス無料デーの実施
物価高騰 対策	<ul style="list-style-type: none">・車両維持費への補助・燃料費高騰分の補助

令和7年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会が定めた静岡県地域公共交通計画に位置づけられた補助対象系統（地域間幹線系統）について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

2 評価項目

評価の観点	評価項目	説明
補助基準	運行回数	実績運行回数が補助要件を満たしているかを評価
	輸送量	実績輸送量が補助要件を満たしているかを評価
実施状況	収支率	実績値を評価(収支率 50%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+ 5 %以上満点)
幹線性・広域性	ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点数及びバス停数を評価（10点満点）
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(50%以上満点)

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評価	内容
A (86点以上)	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B (66～85点)	地域間幹線系統として適した運行となっている
C (51～65点)	地域間幹線系統として改善に努力を要する
D (0～50点)	地域間幹線系統として見直しの検討を要する

3 事業評価結果の概要

全体評価：B (参考：R6: B)

- 評価対象系統全59系統中、A評価：23系統、B評価：30系統、C評価：2系統、D評価：4系統
- 平均点数が80.9点であることから、全体評価を『B』とした。
- 各系統の評価結果は別添「令和7年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

令和7年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	補助基準(40点)		実施状況(40点)		幹線性・広域性(20点)		点数	評価				事業者平均	全体評価	
		運行回数 (10点)	実績輸送量 (30点)	収支率 (15点)	乗車人員 (15点)	ネットワーク (10点)	広域トリップ (10点)		A 86~100	B 66~85	C 51~65	D 0~50	計		
山梨交通	1 富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	10	5	15	12	3	15	6	5	11	41		○	1	41.0
秋葉バスサービス	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	10	5	15	3	20	23	10	5	15	53		○	4	77.7
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	10	30	40	12	20	32	10	5	15	87	○			
	4 秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	10	30	40	12	20	32	6	8	14	86	○			
	5 秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	10	30	40	12	20	32	5	8	13	85		○		
	6 浜北医大三方原聖隸	10	30	40	12	15	27	10	8	18	85		○		
遠州鉄道	7 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	10	30	40	15	6	21	7	5	12	73		○	16	78.7
	8 中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	10	30	40	20	15	35	9	5	14	89	○			
	9 秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	10	5	15	6	3	9	7	8	15	39		○		
	10 磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)	10	30	40	20	6	26	8	10	18	84		○		
	11 磐田天竜線(ららぽーと経由)	10	30	40	15	6	21	8	8	16	77	○			
	12 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	10	30	40	20	15	35	9	8	17	92	○			
	13 内野台線(内野台車庫)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81	○			
	14 内野台線(サンストリート浜北)	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○			
	15 磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	10	5	15	12	6	18	5	8	13	46		○		
	16 引佐線	10	30	40	20	15	35	10	5	15	90	○			
	17 萩丘都田線	10	30	40	20	3	23	10	5	15	78	○			
	18 大塚ひとみヶ丘線	10	30	40	20	3	23	10	0	10	73	○			
	19 気賀三ヶ日線	10	30	40	20	6	26	10	5	15	81	○			
	20 奥山線	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81	○			
	21 掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	10	30	40	20	20	40	8	5	13	93	○			
しづてつジャストライン	22 三保草薙線	10	30	40	20	15	35	10	2	12	87	○		11	77.8
	23 五十海大住線	10	30	40	15	20	35	10	8	18	93	○			
	24 焼津岡部線	10	30	40	15	20	35	6	10	16	91	○			
	25 藤枝吉永線	10	30	40	15	3	18	10	8	18	76	○			
	26 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	10	5	15	12	3	15	10	10	20	50		○		
	27 島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	3	15	10	10	20	75	○			
	28 藤枝相良線	10	30	40	15	3	18	10	10	20	78	○			
	29 菊川浜岡線	10	30	40	20	3	23	5	8	13	76	○			
	30 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	10	30	40	12	3	15	9	10	19	74	○			
	31 掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○			
	32 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	10	0	10	12	20	32	4	10	14	56		○		
富士急モビリティ	33 御殿場線	10	5	15	20	15	35	10	10	20	70		○	4	82.2
	34 駿河小山線	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83		○		
	35 十里木線	10	30	40	15	3	18	8	10	18	76	○			
	36 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○			
富士急バス	37 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○		2	100
	38 新富士線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○			
富士急静岡バス	39 曽比奈線	10	5	15	20	20	40	8	10	18	73		○	4	78.2
	40 大渕線	10	5	15	20	15	35	10	10	20	70		○		
	41 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95	○			
	42 大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75		○		
富士急シティバス	43 駿河平線	10	30	40	20	3	23	8	8	16	79		○	6	82.5
	44 須山線(三島駅～須山)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		○		
	45 原線	10	30	40	12	6	18	10	2	12	70		○		
	46 桜堤線	10	30	40	20	6	26	7	10	17	83		○		
	47 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	10	30	40	20	20	40	6	5	11	91	○			
	48 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	10	30	40	20	15	35	8	8	16	91	○			
	49 沼津大岡三島線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○			
伊豆箱根バス	50 長岡伊豆三津シーパラダイス線	10	30	40	20	15	35	7	8	15	90	○		3	89.3
	51 沼津静浦長岡線	10	30	40	20	6	26	7	5	12	78		○		
	52 石廊崎線	10	30	40	20	20	40	7	10	17	97	○			

地域間幹線系統項目別評価一覧表（輸送量）

(参考)

事業者名	系統名	R5実績	R6実績	R7実績	備考
山梨交通	1 富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	20.6	19.5	19.5	R8.1～退出
秋葉バスサービス	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	19.8	14.5	19.2	
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	56.7	58.5	59.5	
	4 秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	22.1	24.6	24.6	
	5 秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	54.8	53.7	63.4	
	6 浜北医大三方原聖隸	25.0	20.4	21.7	
遠州鉄道	7 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	27.2	24.9	24.9	
	8 中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	85.5	80.0	81.4	
	9 秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	21.7	25.0	19.1	
	10 磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)	28.4	25.9	24.9	
	11 磐田天竜線(ららぽーと経由)	61.4	59.6	55.3	
	12 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	19.6	20.5	22.1	
	13 内野台線(内野台車庫)	46.2	42.3	40.0	
	14 内野台線(サンストリート浜北)	49.0	36.1	46.2	
	15 磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	21.7	19.4	17.6	
	16 引佐線	71.2	66.5	66.5	
	17 萩丘都田線	29.5	28.5	27.5	
	18 大塚ひとみヶ丘線	85.5	93.8	83.4	
	19 気賀三ヶ日線	61.0	65.3	63.6	
	20 奥山線	92.1	107.3	104.3	
	21 掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	137.7	130.3	137.7	
しづてつジャストライン	22 三保草薙線	40.4	39.9	41.6	
	23 五十海大住線	26.7	25.2	29.9	
	24 焼津岡部線	54.0	50.1	57.2	
	25 藤枝吉永線	45.3	57.2	44.9	
	26 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	23.1	25.6	19.2	
	27 島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	26.6	23.8	20.4	
	28 藤枝相良線	55.4	59.6	49.9	
	29 菊川浜岡線	38.0	46.5	45.0	
	30 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	24.6	42.9	37.7	
	31 掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)	37.2	33.5	32.3	
	32 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	31.9	6.7	11.3	R7.10～「30掛川大東浜岡線」と統合
	33 御殿場線	30.0	24.5	18.5	
富士急モビリティ	34 駿河小山線	31.8	34.4	27.2	
	35 十里木線	25.4	30.0	24.3	
	36 河口湖線	21.6	23.4	28.8	
	37 河口湖線	74.0	79.2	81.0	
富士急バス	38 新富士線	17.7	25.5	27.9	
富士急静岡バス	39 曽比奈線	16.1	15.1	15.6	
	40 大淵線	16.7	15.5	15.5	
	41 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	85.1	79.2	81.1	
	42 大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	17.4	15.3	15.6	
富士急シティバス	43 駿河平線	45.9	30.5	22.6	
	44 須山線(三島駅～須山)	34.8	31.0	26.4	
	45 原線	31.9	31.5	24.3	
	46 桜堤線	54.9	58.8	53.5	
	47 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	26.4	24.2	21.8	
	48 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	58.5	37.3	39.2	
	49 沼津大岡三島線	126.5	118.2	137.8	
伊豆箱根バス	50 長岡伊豆三津シーパラダイス線	76.1	68.5	69.2	
	51 沼津静浦長岡線	149.4	135.0	135.7	
	52 石廊崎線	48.0	46.5	60.0	
東海バス	53 天城峠線	39.0	40.0	48.0	
	54 戸田線	26.6	37.8	25.5	
	55 西海岸線	54.4	58.9	59.8	
	56 バサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	44.0	48.8	48.8	
	57 バサラ峠線(下田駅～宇久須)	27.9	23.6	19.3	
	58 下賀茂線	—	22.7	20.5	
	59 柿田線	—	72.0	80.4	
	計(平均値)	46.0	45.0	44.7	

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
株式会社東海バス	天城峠線	修善寺駅	天城峠	河津駅
系統キロ程	関係市町			
41.4 km	伊豆市	河津町		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	10.0 回/日	10	9.9 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	48.0 人/日	30	40.0 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	64.1 %	20	55.6 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 128,845 人 計画 129,057 人	6	129,057 人 88,273 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 2 箇所 乗継バス停 11 箇所	10	2 箇所 11 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	49.1 %	8	40.8 %

補助基準	40 /40
実施状況	26 /40
幹線性・広域性	18 /20
合計	84 /100

評価指標
B

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
- B : 幹線として適した運行となっている
- C : 改善に努力を要する
- D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	当該路線は、伊豆箱根鉄道の修善寺駅から伊豆急行線の河津駅を結ぶ41.7kmの長距離路線で、伊豆半島の南北をつなぐ重要な路線となっている。修善寺から河津へ移動する場合、鉄道では、三島、熱海、伊東をぐるっと回らなければならないところを直接つないでおり、伊豆市と河津町の境となる「天城峠」を越える観光利用や旧修善寺町と旧湯ヶ島町を跨いで利用する通学、通院、買い物の足としての運行が目的である。 「天城峠」および旧修善寺町と旧湯ヶ島町を跨いで利用されている利用者は、全体の40.4%となっている。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 伊豆箱根鉄道線修善寺駅、伊豆急行線河津駅 (乗継ぎバス停) 湯川橋、修善寺インター、畠入口、柿木橋、天城小学校、出口、吉奈温泉口、弘道寺入口、湯ヶ島温泉口、二階滝、峰温泉
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 伊豆総合高校、天城中学校、天城小学校、河津中学校、河津小学校、伊豆赤十字病院、中島病院、伊豆慶友病院、マックスバリュ修善寺駅前店、マックスバリュエクスプレス天城湯ヶ島店、フードストアあおき河津店、マックスバリュエクスプレス河津店、伊豆箱根鉄道線修善寺駅、伊豆市役所、伊豆市 天城湯ヶ島支所、河津町役場、伊豆急行線河津駅

4 事業者の取組

項目	内容
增收策	<ol style="list-style-type: none"> 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引き継ぎ実施している。 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 高齢者定期券（伊東地区：ゆうゆうパス、中伊豆地区：いきいきパス、沼津地区：楽々パス）を引き継ぎ発売し、高齢者の利用促進及び高齢者福祉を図っている。 バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 修善寺駅、河津駅等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 乗車券販売窓口（一部除く）において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。 引き続き、バス停デザインの統一化に取り組み、バス停コードを付与すること等により、「わかりやすいバス」を推進する。 2023年12月に運賃改定を実施。
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> エコドライブ（省燃費運転）を継続して取り組み経費抑制に努めている。 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
株式会社東海バス	戸田線	修善寺駅	虹の郷	戸田
系統キロ程	関係市町			
25.1 km	伊豆市	沼津市		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	7.0 回/日	10	6.9 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	25.5 人/日	30	37.8 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	52.4 %	20	80.4 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 55,391 人 計画 78,224 人	3	78,224 人 28,915 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 1 箇所 乗継バス停 5 箇所	7	1 箇所 5 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	32.6 %	8	34.1 %

補助基準	40 /40
実施状況	23 /40
幹線性・広域性	15 /20
合計	78 /100

評価指標
B

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
- B : 幹線として適した運行となっている
- C : 改善に努力を要する
- D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	修善寺駅と鉄道のない戸田地区を結ぶ重要な路線であり、また、戸田からは土肥温泉あるいは井田方面へ乗り換えることができる幹線系統となっており、高齢化率の高い戸田地区においての地域住民の足の確保が目的となっている。 伊豆市と沼津市の境となる「戸田峠」を越える利用は、全体の4割程度となっており、そのうち通勤、通学、通院等を目的とした地元客が9割以上を占めている。また、戸田峠を越えない短距離利用客の内訳は、修善寺温泉や虹の郷へ行く観光利用が多く、通院等の利用は比較的少ない。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 伊豆箱根鉄道線修善寺駅 (乗継ぎバス停) 湯川橋、修善寺インター、修善寺温泉、ニュータウン入口、戸田
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 伊豆総合高校、戸田中学校、戸田小学校、伊豆赤十字病院、マックスバリュ修善寺駅前店、伊豆箱根鉄道修善寺駅、伊豆市役所、修善寺総合会館、沼津市戸田市民窓口、くるら戸田

4 事業者の取組

項目	内容
增收策	<ol style="list-style-type: none"> 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引き続き実施している。 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 高齢者定期券（伊東地区：ゆうゆうバス、中伊豆地区：いきいきバス、沼津地区：楽々バス）を引き続き発売し、高齢者の利用促進及び高齢者福祉を図っている。 バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 修善寺駅において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 乗車券販売窓口（一部除く）において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。 引き続き、バス停デザインの統一化に取り組み、バス停コードを付与すること等により、「わかりやすいバス」を推進する。 2023年12月に運賃改定を実施。
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> エコドライブ（省燃費運転）を継続して取り組み経費抑制に努めている。 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
株式会社東海バス	西海岸線	修善寺駅	土肥温泉	松崎
系統キロ程	関係市町			
54.4 km	伊豆市	西伊豆町	松崎町	

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	13.6 回/日	10	13.6 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	59.8 人/日	30	58.9 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	54.6 %	20	57.3 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 135,023 人 計画 132,177 人	15	132,177 人 126,481 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 2 箇所 乗継バス停 7 箇所	10	2 箇所 7 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	79.4 %	10	71.7 %

補助基準	40 /40
実施状況	35 /40
幹線性・広域性	20 /20
合計	95 /100

評価指標
A

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
- B : 幹線として適した運行となっている
- C : 改善に努力を要する
- D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	当該路線は、鉄道のない西伊豆地区の住民にとって、通勤、通学、通院、買い物等の生活の足として重要な役割を担っているだけでなく、三島、修善寺方面から土肥温泉・堂ヶ島・松崎への観光客の移動手段等も目的として運行しており、欠かすことの出来ない路線となっている。 市町を跨ぐ利用は、全体の約7割と非常に高く、また1人平均乗車キロも令和5年度実績で19.3キロと長距離になっている等、地域間幹線系統としての役割を果たしている路線となっている。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 伊豆箱根鉄道線修善寺駅、松崎 (乗継ぎバス停) 湯川橋、修善寺インター、畠入口、柿木橋、出口、宇久須、浜橋
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 伊豆総合高校、伊豆総合高校土肥分校、松崎高校、天城小学校、土肥小中一貫校、西伊豆中学校、賀茂小学校、松崎小学校、伊豆赤十字病院、中島医院、西伊豆病院、石田病院、マックスバリュ修善寺駅前店、マックスバリュエクスプレス天城湯ヶ島店、マックスバリュエクスプレス土肥店、フードストアあおき西伊豆店、伊豆市役所、伊豆市役所土肥支所、西伊豆町役場、松崎町役場、伊豆箱根鉄道線修善寺駅

4 事業者の取組

項目	内容
增收策	<ol style="list-style-type: none"> 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引き続き実施している。 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 高齢者定期券（伊東地区：ゆうゆうバス、中伊豆地区：いきいきバス、沼津地区：楽々バス）を引き続き発売し、高齢者の利用促進及び高齢者福祉を図っている。 バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 修善寺駅、土肥温泉、堂ヶ島、松崎等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 乗車券販売窓口（一部除く）において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。 引き続き、バス停デザインの統一化に取り組み、バス停コードを付与すること等により、「わかりやすいバス」を推進する。 2023年12月に運賃改定を実施。
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> エコドライブ（省燃費運転）を継続して取り組み経費抑制に努めている。 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。

「修善寺駅～虹の郷～戸田線（戸田線）」
「修善寺駅～土肥温泉～松崎線（西海岸線）」
「修善寺駅～天城峠～河津駅線（天城峠線）」および
「順天堂病院～修善寺駅～天城峠～下田駅線（天城峠線）」の
「国庫補助（地域間幹線系統）」適用について

○ 現況

1. 戸田線

当該路線は、伊豆箱根鉄道線の修善寺駅から修善寺虹の郷を経由し、戸田までを結ぶ路線です。修善寺駅と鉄道のない戸田地区を結ぶ重要な路線であります。利用者は、戸田地区から修善寺駅への通学、通院等の利用あるいは、修善寺駅から戸田方面への観光利用が多く、沼津市と伊豆市の境となる「戸田峠」を越える利用は、今年度の乗降調査結果では、3割超えとなっています。通学、通院等の利用として、当該路線が地域住民の足として利用されていますが、今年度の乗降調査では、修善寺駅～修善寺虹の郷や修善寺温泉までの観光利用の割合が増加しております。

（令和7年度乗降調査結果 147人中、戸田峠を越えている人員48人（32.6%）
うち通勤・通学20人、通院等19人、観光利用9人）

2. 西海岸線

当該路線は、伊豆箱根鉄道の修善寺駅から船原峠を越え、旧土肥町、西伊豆町を通り、松崎町の松崎を結ぶ54.4kmの長距離路線です。鉄道のない西伊豆地区の住民の通勤、通学、通院、買い物等の移動手段として、重要な役割を担っております。また、土肥温泉・堂ヶ島・松崎等への観光客の足としても欠かすことの出来ない路線であることから、弊社では、幹線系統として位置づけております。

旧修善寺町と旧天城湯ヶ島町、旧天城湯ヶ島町と旧土肥町、伊豆市と西伊豆町を跨ぐ利用者は、全体の7割以上にもなります。

(令和7年度乗降調査結果 389人中、市町を跨いでいる人員309人 (79.4%)
うち通勤・通学129人、通院等106人、観光利用74人)

3. 天城峠線

(1) 当該路線は、伊豆箱根鉄道駿豆線の修善寺駅から国道414号線の天城峠を経由して伊豆急行線の河津駅を結ぶ41.4kmの長距離路線で、伊豆半島の南北をつなぐ重要な路線です。修善寺と河津間のバス移動は、鉄道に比べ距離的・時間的な優位性があります。また、修善寺駅は、伊東、戸田、大仁方面、河津駅は下田、稻取方面、その他にも土肥、西伊豆方面や湯ヶ島温泉方面への路線に乗り換え可能であり、弊社では、幹線系統として位置づけています。伊豆市と河津町の境となる「天城峠」および旧修善寺町と旧湯ヶ島町を跨いで利用されている利用者は、全体の約5割になります。

(令和7年乗降調査結果 380人中、市町を跨いでいる人員188人 (49.4%)
うち通勤・通学58人、通院等37人、観光利用93人)

(2) 昨年度、関係市町さまにお諮りし、令和7年10月から1日10往復のうち、3往復を河津町内で下田駅方面に分岐する再編を行い、新たな地域間幹線系統として修善寺駅～天城峠～下田駅を主系統、修善寺から順天堂病院まで延伸した順天堂病院～修善寺駅～天城峠～下田駅を副系統とする下田駅着発の天城峠線を新設しました。なお、実証実験として令和7年4月から従前の南伊豆町内発着の順天堂病院バスを経路変更し、順天堂病院～修善寺駅～天城峠～下田駅線として平日のみ1往復運行していましたが、令和7年10月からは下田着発の天城峠線の3往復に組み込み、順天堂病院発着として下田駅間を平日1.5往復運行しています。また、土日祝日は、主系統の修善寺駅～天城峠～下田駅線として運行しています。

ちなみに新設した下田駅着発の天城峠線とこれまでの河津駅着発の天城峠線は運行キロの差が大きいことから、主系統と副系統という関係ではなく、それぞれが単独した系統として申し出を行っています。（令和7年10月より河津駅着発の天城峠線は7往復、順天堂病院を含めた下田駅着発の天城峠線は3往復の運行）

※地域幹線系統となった、順天堂病院～下田駅線の10月・11月の一日の平均乗車人員は、64.3人、うち伊豆市と伊豆の国市を跨ぐ利用者は一日平均6.4人でした。

○ 国庫補助申請理由

1. 戸田線

当該路線は、平成27年10月から国庫補助路線として運行いたしており、これまで、さまざまな収支改善策を実施してまいりました。コロナ禍以降、減少した利用者は回復傾向にありましたが、本年度の乗降調査では、減少に転じました。これは伊豆市内で戸田線と競合する自社他系統へ利用が移ってしまったことや戸田地区への利用が落ち込んだことが考えられます。今後は自社競合系統の運行時刻等を検討し、幹線系統との運行間隔の見直しを行うなどの改善策を実施していきます。このような現況をふまえると収支状況は依然として厳しいものがあり、引き続き国庫補助によるご支援をいただきたく、申請するものです。

※令和6年度欠損額29,623千円、令和7年度欠損額26,841千円、

令和8年度欠損見込額18,440千円

2. 西海岸線

当該路線は、自社路線として維持してまいりましたが、平成29年度より欠損が生じるようになってきたことから、平成31年4月に大幅なダイヤ改正を行い、大幅な収支改善が出来ました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度からは再び欠損が生じております。コロナ禍以降は、観光客を中心に回復傾向にはありますが、引き続き収支状況は厳しいものがあることから、国庫補助によるご支援をいただきたく、申請するものでございます。

※令和6年度欠損額118,602千円、令和7年度欠損額 123,116千円、

令和8年度欠損見込額111,177千円

3. 天城峠線

当該路線は、利用客の減少が続く中、さまざまな収支改善策を講じながら、貸切バス事業の収益等で内部補填しながら維持してきました。コロナ禍以降、大幅に減少した利用者も回復傾向にあります。また、令和7年10月の天城峠線を分割する路線再編も収支改善策の一環となります。伊豆中・南部からの順天堂病院への通院手段として運行していた順天堂病院バスは、関係市町や順天堂病院さまのご支援をもってしてもその維持が困難であったことから、通院手段を確保しつつ、新たな需要を開拓することで収支改善をはかることを目的としています。しかし、新系統が定着するまでには、今しばらく時間がかかると思われ、運行経費の増加も相まって当面は収支状況が厳しいことから、引き続き国庫補助によるご支援をいただきたく、申請するものです。

※令和6年度欠損額 83,223千円、令和7年度欠損額 46,276千円、
令和8年度欠損額見込み 52,584千円（2系統合算）

○ 提案理由

令和8年10月から国庫補助（地域間幹線系統）の適用を受ける場合、令和7年9月末までに東海バスが静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会に対し、「単独継続困難（国庫補助分）」の申し出を提出することが必要となります。⇒ 【提出済】

さらに、沿線の各市町の地域公共交通会議等において、当該系統を国庫補助とすることについて諮り、承認を受ける必要があることから、提案するものです。

○ 収支改善について

これまでも、エコドライブ（省燃費運転）の取り組み等による経費削減策を行う一方で、利用人員および収入確保に向けて、さまざまな利用促進策およびダイヤの見直しを実施してきました。特に、平成25年度からは「わかりやすいバス、乗りやすいバス」をスローガンに、利便性の向上などの增收対策の強化を図っています。また、令和5年12月には約26年ぶりに運賃改定を実施する等、さまざまな施策を行っています。

今後も引き続き収支改善に取り組み、補助金の減額に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いするとともに、当該系統の国庫補助適用につきましてご承認くださいますよう、お願いいたします。

～增收策～

- ①路線バス時刻表の全戸配布（新聞折込・地区回覧板を利用した配布）
- ②バスの時刻表検索 ③系統番号化の推進 ④バスの乗り方教室の実施
- ⑤時刻検索サイトへの掲出 ⑥バス停デザイン統一の推進（バス停コード）
- ⑦バスロケーションシステムの導入 ⑧デジタルサイネージの設置
- ⑨「MaaS」への参画（デジタルフリーバスの取り扱い）
- ⑩案内所におけるクレジットカード、QR決済コードの取り扱い
- ⑪交通系ICカードの取り扱い ⑫運賃改定の実施 等

バスの時刻検索・接近情報



バスの現在地や
バス停への到着時刻がわかる！

複雑な乗り換えも
簡単検索！

バス停名がわからなくても大丈夫。
現在地や学校・病院・店舗・施設名称などからも、
バスに関する情報を検索できます！

詳しい使い方はこちら

検索

デジタルサイネージ

⌚ 17:45

BUS INFORMATION

時刻 schedule	系統 route	経由・行き via・destination	発車案内 departure	のりば stops
18:00	C53	日道 経由 天城の杜 行き	約15分後 about 15 min	5
18:10	C61	日向 経由 柿木大野 行き	約25分後 about 25 min	5
18:15	W30	土肥・堂ヶ島 経由 松崎 行き	約30分後 about 30 min	4
18:15	C10	修善寺温泉 行き	約30分後 about 30 min	1
18:15	C23	地蔵堂 経由 筱場 行き	約30分後 about 30 min	3

Info ◆高額紙幣の両替が出来ません◆発車番線については、のりばに掲示の時刻表にあわせてご確認ください。



バス停デザインの統一 (ピクトグラム、バス停コードなど)

交通系ICカード車載器



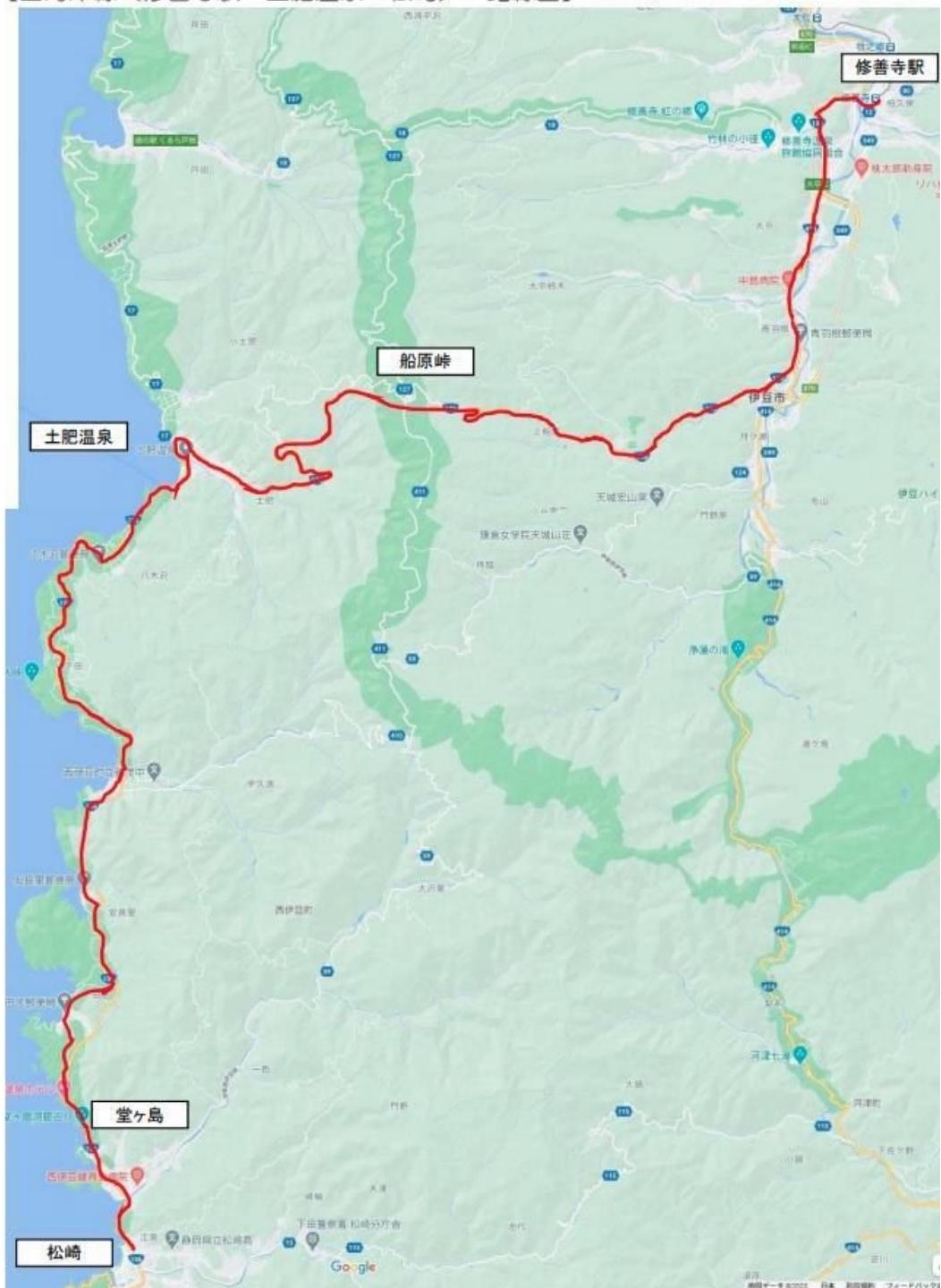
バスの乗り方教室



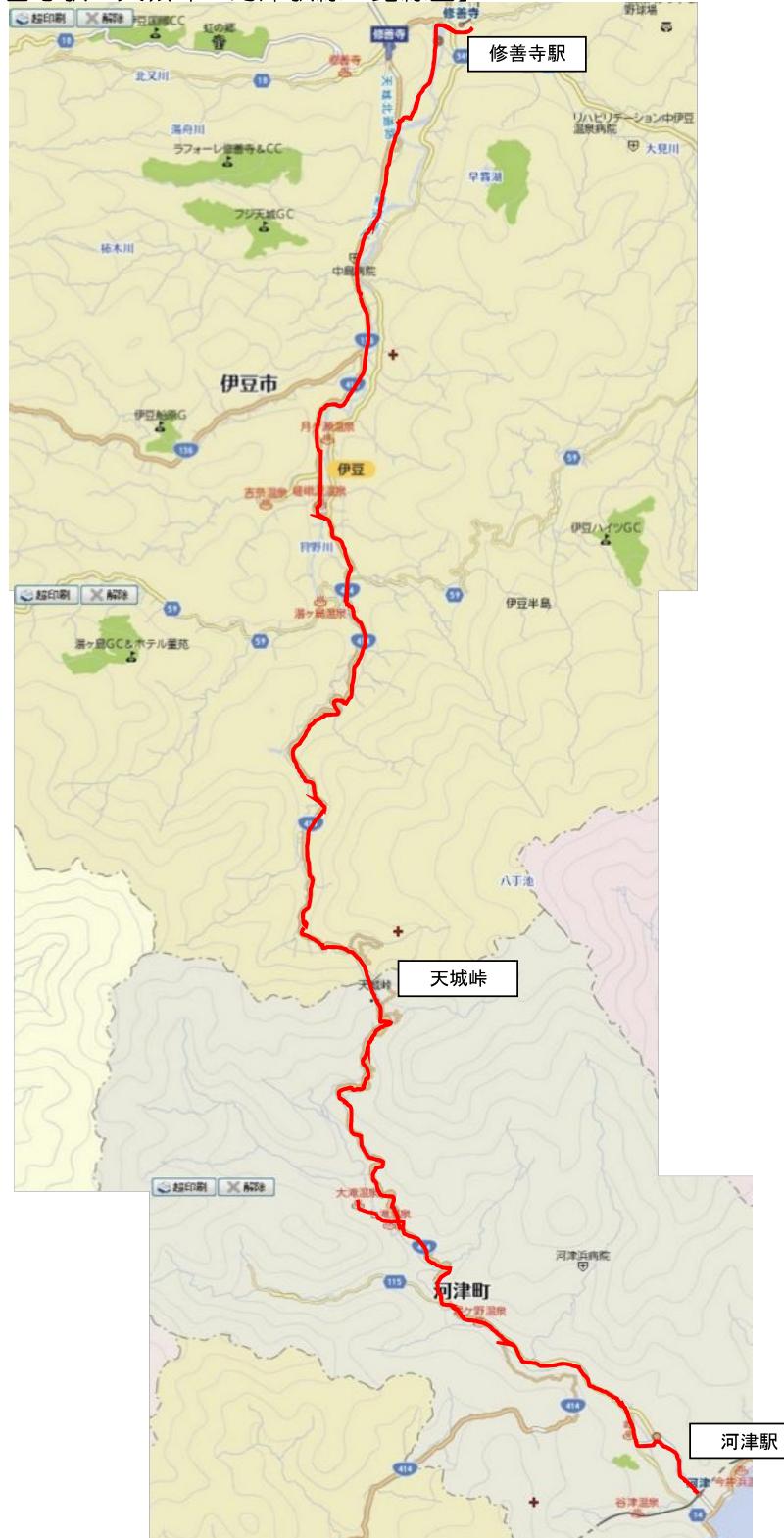
【修善寺駅～戸田線 路線図】



▲
▼
【西海岸線（修善寺駅～土肥温泉～松崎） 路線図】



【修善寺駅～天城峠～河津駅線 路線図】

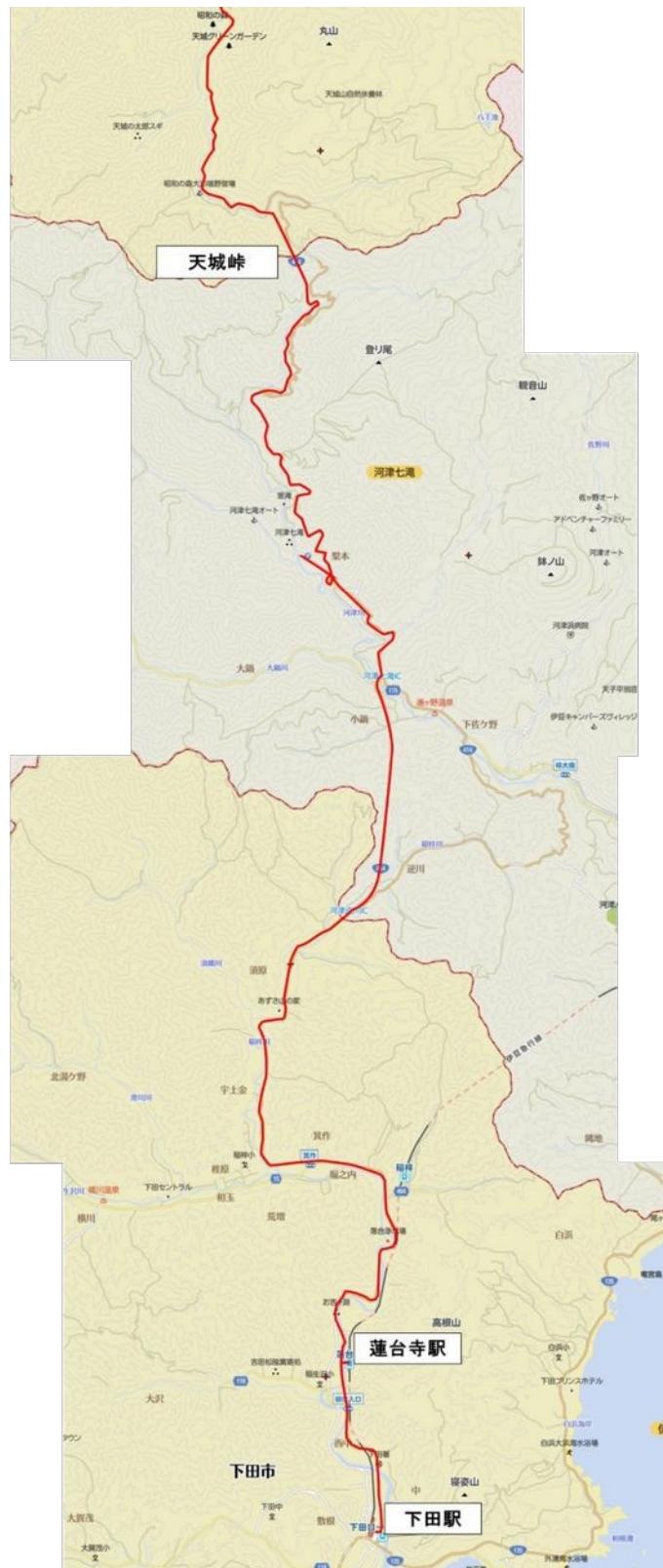


【順天堂病院～修善寺駅～天城峠～下田駅線 路線図①】

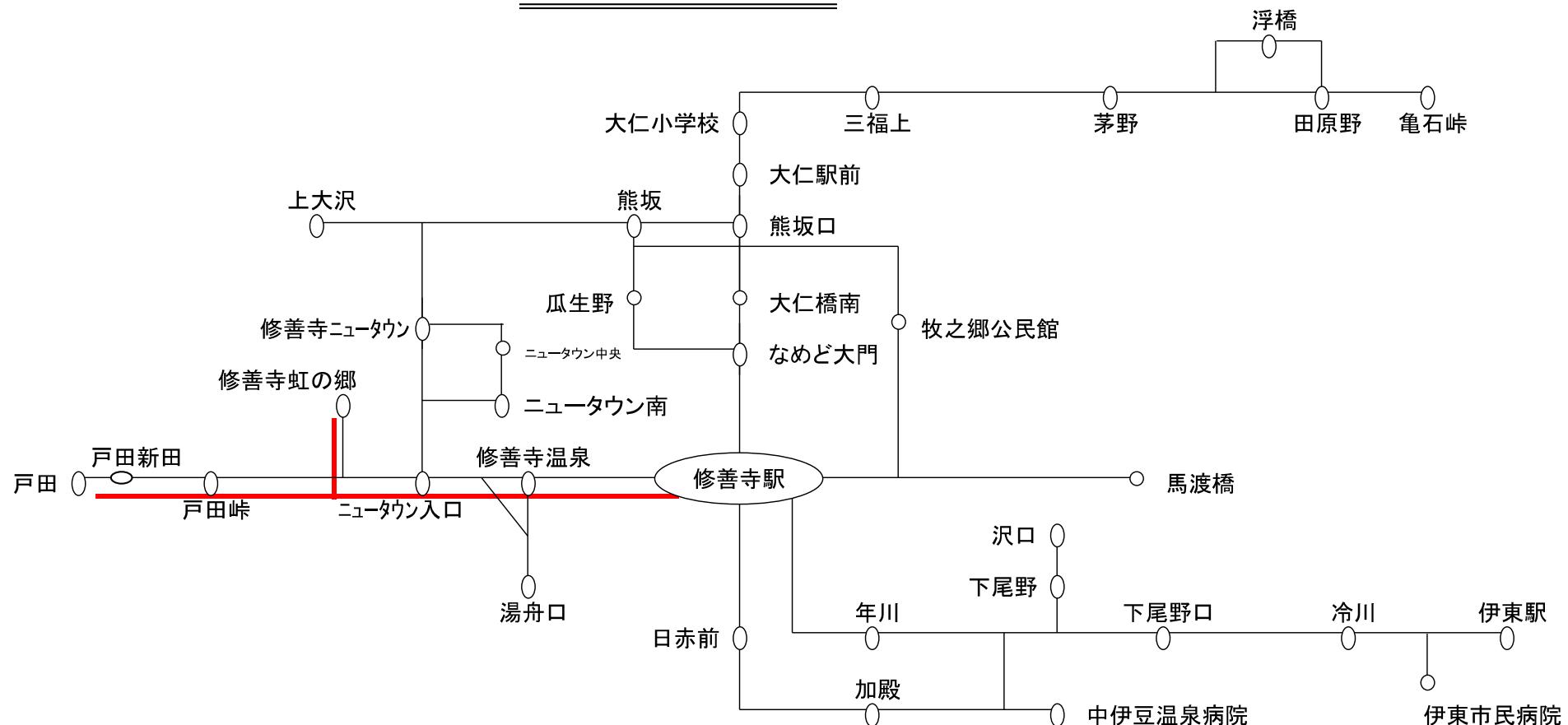
11



【順天堂病院～修善寺駅～天城峠～下田駅線 路線図②】

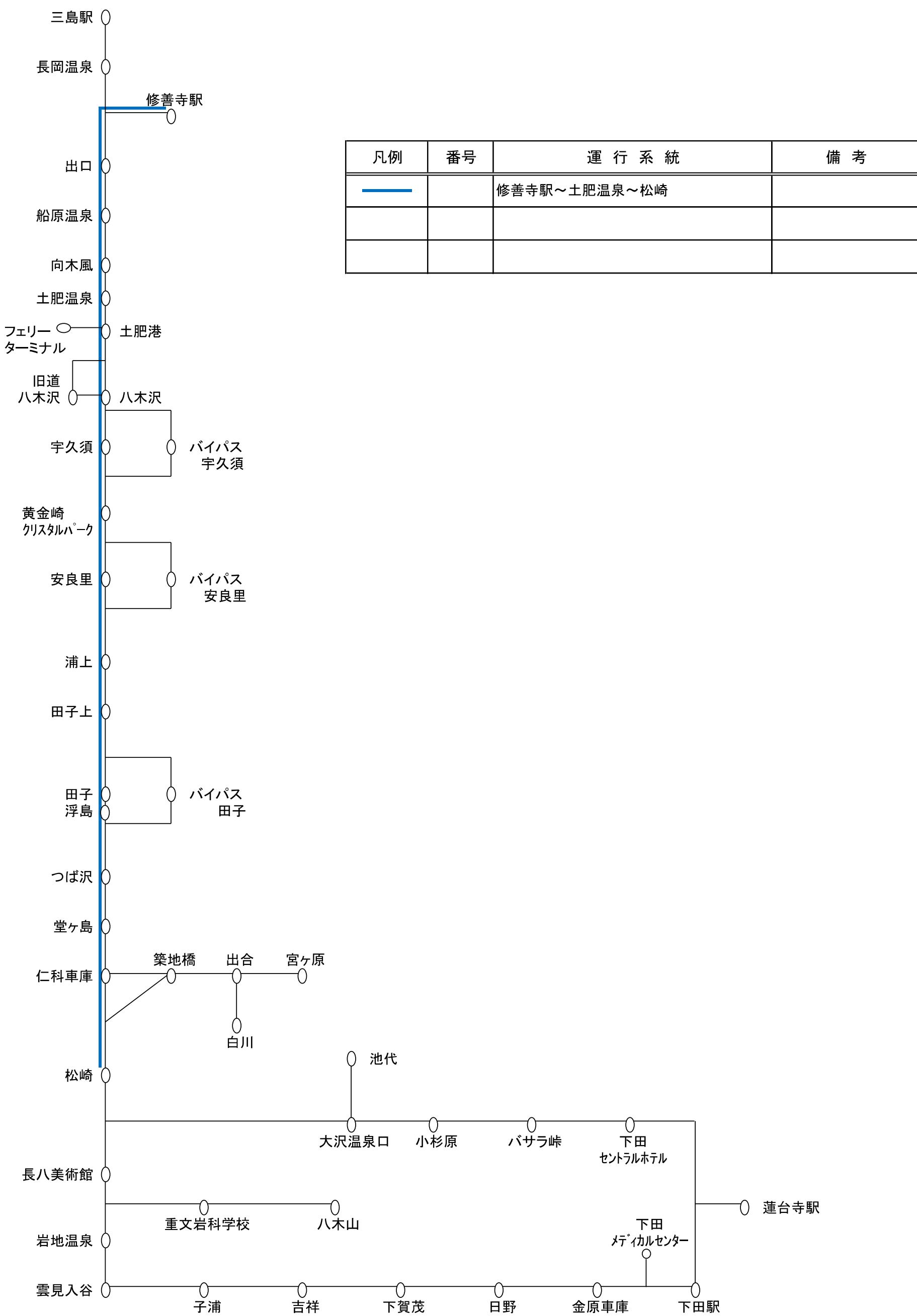


運行系統図

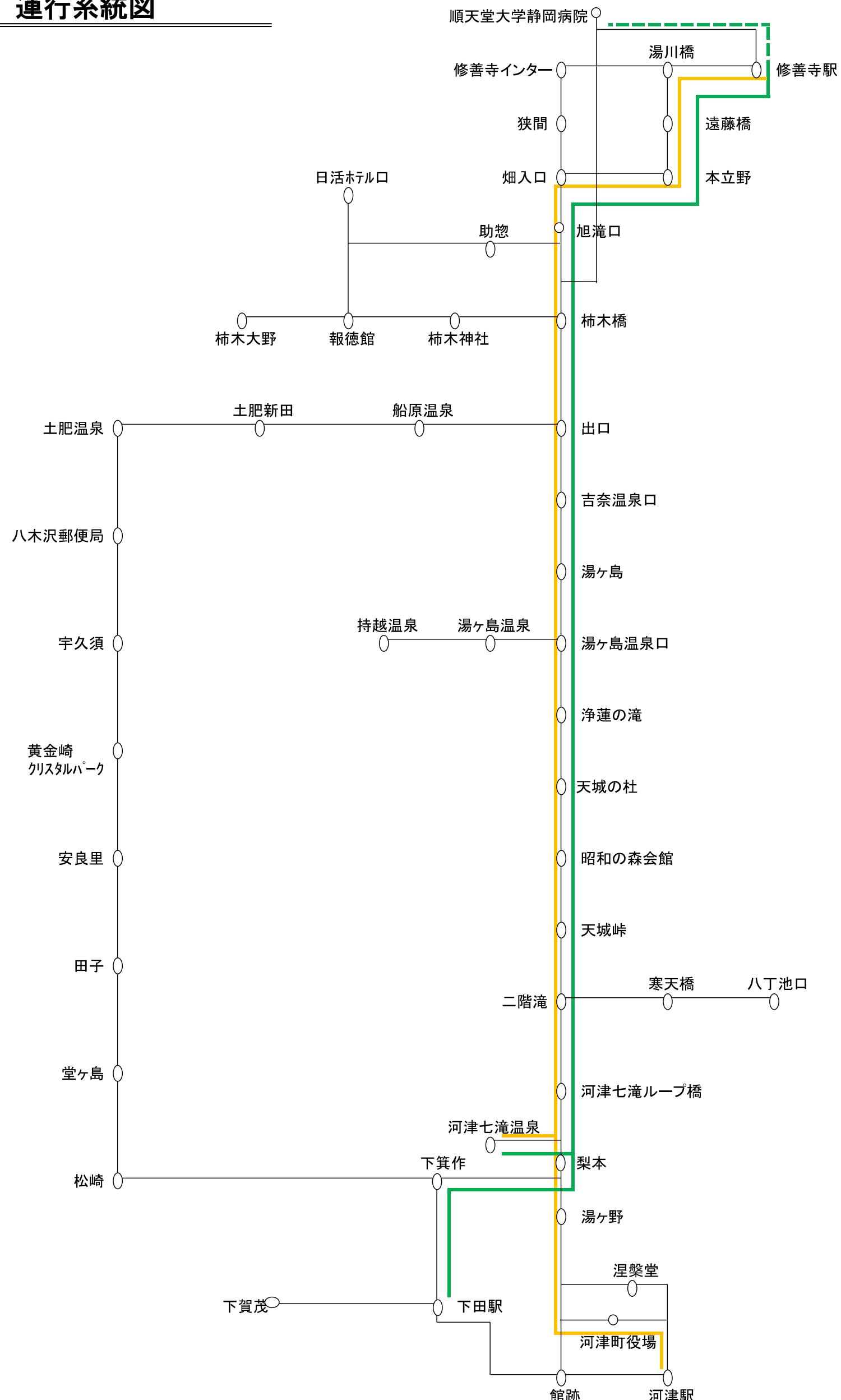


凡例	申し出番号	運行系統	備考
――――――		修善寺駅～修善寺虹の郷～戸田	

運行系統図



運行系統図



凡例	系統No.	運行系統	備考
—		修善寺駅～天城峠～河津駅	
—		修善寺駅～天城峠～下田駅	
— - -		下田駅～修善寺駅～順天堂大学静岡病院	

戸田線

2025年10月1日現在

行先	戸田	戸田	戸田	戸田	戸田	戸田	戸田
備考		虹	虹	虹	虹		
修善寺駅	802	920	1130	1420	1545	1735	1850
湯川橋	804	922	1132	1422	1547	1737	1852
うなり石	805	923	1133	1423	1548	1738	1853
修善寺インター	806	924	1134	1424	1549	1739	1854
嵐山	807	925	1135	1425	1550	1740	1855
修善寺総合会館	807	925	1135	1425	1550	1740	1855
みゆき橋	808	926	1136	1426	1551	1741	1856
修善寺温泉	810	928	1138	1428	1553	1743	1858
公園通り	811	929	1139	1429	1554	1744	1859
寺山口	811	929	1139	1429	1554	1744	1859
梅林口	812	930	1140	1430	1555	1745	1900
ニュータウン入口	813	931	1141	1431	1556	1746	1901
もみじ林前	814	932	1142	1432	1557	1747	1902
修善寺虹の郷	//	936	1146	1436	1601	//	//
伊豆国際カントリークラブ	817	939	1149	1439	1604	1750	1905
大芝	818	940	1150	1440	1605	1751	1906
藤ヶ平	820	942	1152	1442	1607	1753	1908
だるま山高原レストハウス	825	947	1157	1447	1612	1758	1913
戸田峠	827	949	1159	1449	1614	1800	1915
古宇口	835	957	1207	1457	1622	1808	1923
はかま滝	839	1001	1211	1501	1626	1812	1927
戸田新田	840	1002	1212	1502	1627	1813	1928
雉ヶ尾滝口	841	1003	1213	1503	1628	1814	1929
大上	842	1004	1214	1504	1629	1815	1930
大上集会所前	842	1004	1214	1504	1629	1815	1930
中上橋	843	1005	1215	1505	1630	1816	1931
宮の前	844	1006	1216	1506	1631	1817	1932
くるら戸田	844	1006	1216	1506	1631	1817	1932
仲道	845	1007	1217	1507	1632	1818	1933
中島	846	1008	1218	1508	1633	1819	1934
戸田学校前	847	1009	1219	1509	1634	1820	1935
戸田	850	1010	1220	1510	1635	1823	1938

虹:虹の郷休園日は虹の郷を経由せず運行

■:休校日は修善寺駅止

行先	総合高校						
備考		虹	虹	虹			
戸田	610	705	905	950	1200	1420	1710
戸田学校前	610	705	905	950	1200	1420	1710
中島	611	706	906	951	1201	1421	1711
仲道	611	706	906	951	1201	1421	1711
くるら戸田	611	706	906	951	1201	1421	1711
宮の前	612	707	907	952	1202	1422	1712
中上橋	612	707	907	952	1202	1422	1712
大上集会所前	612	707	907	952	1202	1422	1712
大上	613	708	908	953	1203	1423	1713
雉ヶ尾滝口	614	709	909	954	1204	1424	1714
戸田新田	615	710	910	955	1205	1425	1715
はかま滝	616	711	911	956	1206	1426	1716
古宇口	620	715	915	1000	1210	1430	1720
戸田峠	628	723	923	1008	1218	1438	1728
だるま山高原レストハウス	630	725	925	1010	1220	1440	1730
藤ヶ平	635	730	930	1015	1225	1445	1735
大芝	637	732	932	1017	1227	1447	1737
伊豆国際カントリークラブ	638	733	933	1018	1228	1448	1738
修善寺虹の郷	//	//	//	1022	1232	1452	//
もみじ林前	641	736	936	1023	1233	1453	1741
ニュータウン入口	643	738	938	1025	1235	1455	1743
梅林口	643	738	938	1025	1235	1455	1743
寺山口	644	739	939	1026	1236	1456	1744
公園通り	645	740	940	1027	1237	1457	1745
修善寺温泉	648	743	943	1030	1240	1500	1748
みゆき橋	648	743	943	1030	1240	1500	1748
修善寺総合会館	649	744	944	1031	1241	1501	1749
嵐山	649	744	944	1031	1241	1501	1749
修善寺インター	650	745	945	1032	1242	1502	1750
うなり石	651	746	946	1033	1243	1503	1751
湯川橋	652	747	947	1034	1244	1504	1752
修善寺駅	658	753	953	1040	1250	1510	1758
末広町		754					
伊豆総合高校入口		755					

東海バス 西海岸線時刻表

2025年10月1日現在

中等教育 · 100 例生物学实验设计

東海バス

西海岸線時刻表

2025年10月1日現在

平日: 土日祝日運休

天城峠線 修善寺駅のりば⑤

2025年10月1日現在

停留所名	順天堂					順天堂						
	平	日	平	日	平	日	平	日	平	日		
順天堂病院			1300						1600			
修善寺駅	815	955	1055	1155	1240	1330	1330	1400	1435	1520	1630	1630
本立野	822	1002	1102	1202	1247	1337	1337	1407	1442	1527	1637	1637
天城小学校	831	1011	1111	1211	1256	1346	1346	1416	1451	1536	1646	1646
湯の国会館	832	1012	1112	1212	1257	1347	1347	1417	1452	1537	1647	1647
出口	833	1013	1113	1213	1258	1348	1348	1418	1453	1538	1648	1648
吉奈温泉口	838	1018	1118	1218	1303	1353	1353	1423	1458	1543	1653	1653
嵯峨沢温泉市山	839	1019	1119	1219	1304	1354	1354	1424	1459	1544	1654	1654
湯ヶ島	840	1020	1120	1220	1305	1355	1355	1425	1500	1545	1655	1655
湯ヶ島温泉口	842	1022	1122	1222	1307	1357	1357	1427	1502	1547	1657	1657
淨蓮の滝	844	1024	1124	1224	1309	1359	1359	1429	1504	1549	1659	1659
天城の杜	850	1030	1130	1230	1315	1405	1405	1435	1510	1555	1705	1705
昭和の森会館	852	1032	1132	1232	1317	1407	1407	1437	1512	1557	1707	1707
水生地下	855	1035	1138	1235	1320	1413	1413	1440	1515	1600	1713	1713
天城峠	859	1039	1142	1239	1324	1417	1417	1444	1519	1604	1717	1717
二階滝	900	1040	1143	1240	1325	1418	1418	1445	1520	1605	1718	1718
河津七滝遊歩道上入口	903	1043	1146	1243	1328	1421	1421	1448	1523	1608	1721	1721
河津七滝温泉	920	1100	1203	1300	1345	1438	1438	1505	1540	1625	1738	1738
湯ヶ野	930	1110	//	1310	1355	//	//	1515	1550	1635	//	//
河津駅	944	1124	//	1324	1409	//	//	1529	1604	1649	//	//
下田駅			1236			1511	1511				1811	1811

河津駅のりば③ 下田駅のりば①

停留所名	順天堂					順天堂					
	平	日	平	日	平	日	平	日	平	日	
下田駅	608	708			1050			1400			
河津駅	//	//	840	955	//	1135	1245	//	1515	1620	1705
湯ヶ野	//	//	854	1009	//	1149	1259	//	1529	1634	1719
河津七滝温泉	642	742	905	1020	1124	1200	1310	1434	1540	1645	1730
河津七滝遊歩道上入口	652	752	915	1030	1134	1210	1320	1444	1550	1655	1740
二階滝	658	758	921	1036	1140	1216	1326	1450	1556	1701	1746
天城峠	701	801	924	1039	1143	1219	1329	1453	1559	1704	1749
水生地下	702	802	925	1040	1144	1220	1330	1454	1600	1705	1750
昭和の森会館	712	812	932	1047	1154	1227	1337	1504	1607	1712	1757
天城の杜	715	815	935	1050	1157	1230	1340	1507	1610	1715	1800
淨蓮の滝	717	817	937	1052	1159	1232	1342	1509	1612	1717	1802
湯ヶ島温泉口	723	823	943	1058	1205	1238	1348	1515	1618	1723	1808
湯ヶ島	725	825	945	1100	1207	1240	1350	1517	1620	1725	1810
市山	727	827	947	1102	1209	1242	1352	1519	1622	1727	1812
嵯峨沢温泉	728	828	948	1103	1210	1243	1353	1520	1623	1728	1813
吉奈温泉口	729	829	949	1104	1211	1244	1354	1521	1624	1729	1814
出口	734	834	954	1109	1216	1249	1359	1526	1629	1734	1819
湯の国会館	735	835	955	1110	1217	1250	1400	1527	1630	1735	1820
天城小学校	736	836	956	1111	1218	1251	1401	1528	1631	1736	1821
本立野	743	843	1003	1118	1225	1258	1408	1535	1638	1743	1828
修善寺駅	752	852	1012	1127	1234	1307	1417	1544	1647	1752	1837
順天堂病院	822										

平:平日運行 日:土日祝日運行

地域間幹線系統に対する市町取組方針報告書

市町名		伊豆市
対象系統		
評価指標	A	西海岸線
	B	天城峠線、戸田線
	C	
	D	
市町の取組		
<p>・バス利用促進策として、小学生のバス通学費全額補助及び中学生の路線バスフリーパスの配布、高校生のバス通学費補助事業、高齢者路線バス割引乗車証（いきいきバス）の販売及び購入費の補助、福祉タクシー等（鉄道・バス含む）利用の助成、バス待ち環境整備事業の補助を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻表の配布、公共施設で時刻表等配布コーナーを設置。 ・こども園等においてバスの乗り方教室を実施。 ・定期的にバス事業者や教育委員会等との会議や打合せ、地域公共交通会議にて協議。 ・修善寺駅でのイベントに合わせ、バス利用促進券を配布。 		
今後の方針（市町の意向等）		
評価指標	A または B	市外との往来だけでなく、通勤・通学・通院等の地域住民の足として利用されている重要な路線であり、市としても運行継続を図るため、国の補助を受けながら、上記の取組を継続し、利用促進を行う。
	C または D	

(記載要領)

- 「市町の取組」は、評価期間に実施した利用促進策等の取組を記載してください。
- 「今後の方針（市町の意向等）」は、当該系統をどのように維持していくか、簡潔に記載してください。なお、輸送量が20人/日未満（特に評価指標がCまたはDの系統）については、国及び県の補助要件（輸送量15人/日等）を満たさなくなり、今後補助を受けられなくなるおそれがあるため、より具体的な取組や市町の意向を記載してください（必要に応じて詳細資料（様式任意）を添付すること）。

単独継続困難申し出路線「松崎・馬場線」について

当該路線は、松崎町の松崎バスター・ミナルから伊豆市の土肥地区を結ぶ約30キロの長距離路線です。運行は登校日の往路1便のみであり、その主なご利用は、土肥地区内にある伊豆市立土肥小中一貫校に通う伊豆市の児童・生徒であり、そのほかのご利用はほとんどなく、欠損を生じています。伊豆市土肥地区内の通学利用に特化した路線で、今後も収支改善は見込めないことから、令和7年9月末に静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会に「単独継続困難」の申し出を行っております。なお、本年度と次年度の見込み、および収支改善計画につきましては以下のとおりです。

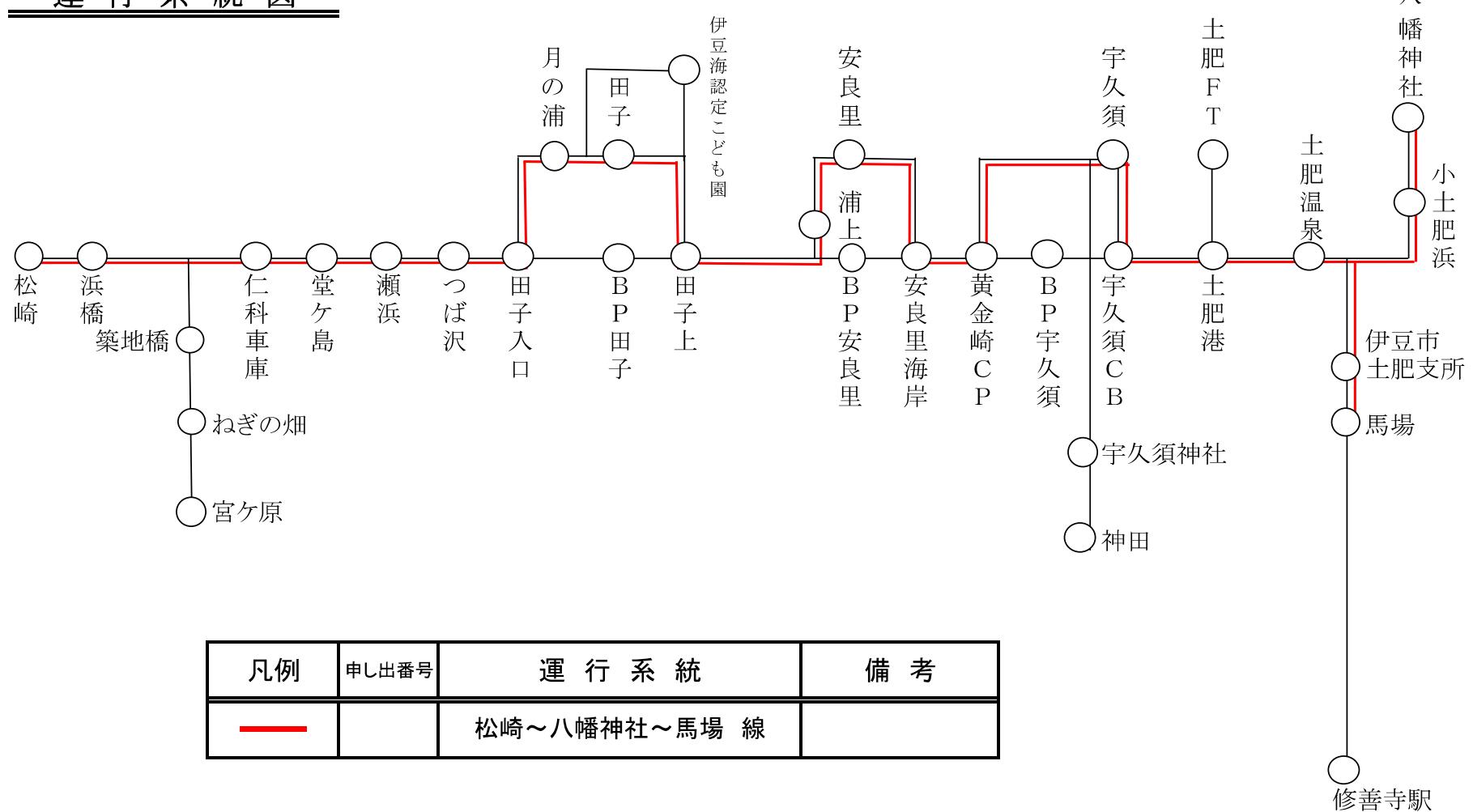
1. 現況

系統名 (路線名)	起 点	年度	運行の状況			収支の状況			備考
	経過地		実車走行 キロ(km)	運行 日数 (日)	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	
	終 点								
松崎・馬場線	松崎	7年度							
			5,868.1	202	4,646	2,710,065	669,814	-2,040,251	見込
	馬場	8年度	5,868.1	202	4,646	2,749,029	669,814	-2,079,215	見込

2. 収支改善計画

利 用 促 進 策	収 支 改 善 策
<p>1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引き継ぎ実施している。</p> <p>2. 時刻表を役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。</p> <p>3. 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。</p> <p>4. バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。</p> <p>5. 修善寺駅等において、デジタルサイネージ（松崎案内所は簡易型）を設置し、時刻案内等を行っている。</p> <p>6. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。</p> <p>7. 乗車券販売窓口（一部除く）において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。</p> <p>8. 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーパスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。</p> <p>9. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。</p> <p>10. 引き続き、バス停デザインの統一化を行い、バス停コードを付与すること等により、「わかりやすいバス」の推進を図る。</p> <p>11. バス車内放送の一部を多言語化することによりインバウンド旅客の利便性向上を図っている。</p> <p>12. 地域と協働し「バスの乗り方教室」を開催して児童や高齢者のバス利用促進を図っている。</p>	<p>1. エコドライブ（省燃費運転）を継続して取り組み経費抑制に努めている。</p> <p>2. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。</p>

運行系統図



凡例	申し出番号	運行系統	備考
—		松崎～八幡神社～馬場 線	

松崎 ⇒ 土肥温泉 ⇒ 八幡神社 ⇒ 馬場

2025年10月1日現在

学:休校日運休

停留所名/備考	学				
松崎	625				
下築地	627				
浜橋	627				
大浜	628				
仁科車庫	629				
仁科	630				
沢田	631				
乗浜	632				
堂ヶ島	633				
瀬浜	634				
つば沢	635				
田子入口	635				
浮島	636				
月の浦上	637				
月の浦子	638				
田子	639				
合浦	640				
大田子	641				
中谷	642				
田上	643				
円成寺	644				
浦上坂	646				
天安良里	646				
良里	647				
安良里海岸	649				
黄金崎クリスタルパーク	651				
宇久須港口	652				
三滝遊歩道口	652				
宇久須	653				
宇久須クリスタルビーチ	654				
小峰	657				
恋岬	657				
富士見台	658				
菅沼	659				
坂の上	659				
富士見園	700				
小下田	701				
下駿豆学園	702				
大久保	703				
土肥丸山公園	704				
八木沢郵便局	706				
富士見橋	708				
八木沢	709				
通り崎	710				
土肥港	711				
火振川	711				
湯の川	712				
土肥金山	712				
土肥温泉	714				
土肥漁協	715				
小土肥浜	717				
八幡神社	718				
小土肥浜	719				
大数	721				
中浜	721				
土肥郵便局	722				
伊豆市土肥支所	722				
馬場	723				

伊豆市自主運行路線の現況について

1 修善寺・天城の杜線

起	点	】修善寺駅
経	過	】本立野
終	点	】天城の杜
系	キ	】16.9km
運	行	】5.0回／日
運	行	】365日／年
特	徵	】天城地区と修善寺駅の主要な通学

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

R7	往路	1回目	2回目	復路	1回目	2回目
校生	6:22	4	4	6:43	21	28
	7:45	5	7	7:23	12	10
	9:00	5	17	8:28	4	8
	18:00	0	3	18:40	2	6
	19:00	4	9	19:40	1	2
	5便	18	40	5便	40	54

運行 年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	16.9	366	68,039.4	44,469	2.6	27,612,430	12,000,855	▲ 15,611,575	43%
6	16.9	365	67,853.5	48,910	2.8	29,010,085	13,919,961	▲ 15,090,124	48%
7	16.9	365	61,685.0	27,740	3.5	26,036,622	15,844,892	▲ 10,191,730	61%

2 修善寺・持越温泉線

【起 点】	修善寺駅
【経 過 地】	本立野
【終 点】	持越温泉
【系 統 キ ロ】	19.5km
【運 行 回 数】	1.5回／日
【運 行 日 数】	365日／年
【特 徴】	天城湯ヶ島の持越地区と修善寺駅間を運行する長距離路線。小・中・高校生の主要な通学手段となっている。

【運行実施者】株東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

運行 年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	19.5	366	21,411.0	8,235	1.9	8,689,226	2,674,370	▲ 6,014,856	31%
6	19.5	365	21,352.5	8,395	1.9	9,129,048	2,800,046	▲ 6,329,002	31%
7	19.5	365	21,352.5	8,578	4.4	9,012,677	6,636,241	▲ 2,376,436	74%

3 修善寺・持越温泉線

【起 点】	修善寺駅	R
【経 過 地】	吉奈温泉	
【終 点】	持越温泉	
【系 統 キ ロ】	21.7km	
【運 行 回 数】	1.0回／日	
【運 行 日 数】	365日／年	
【特 徴】	天城湯ヶ島の持越地区から吉奈温泉を経由し修善寺駅間を運行する長距離路線。小学校統合による通学手段の確保や利便性向上のため②の経由地を変え運行。	

【運行実施者】株東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

運行年度	運行の状況					収支の状況			
	系統キロ(km)	運行日数(日)	実車走行キロ(km)	乗車人員(人)	平均乗車密度	経常費用(円)	経常収益(円)	経常欠損額(円)	収支率
5	21.7	366	15,884.4	13,176	3.0	6,446,366	3,110,632	▲ 3,335,734	48%
6	21.7	365	15,841.0	11,498	3.3	6,772,661	3,609,158	▲ 3,163,503	53%
7	21.7	365	15,841.0	26,280	3.0	6,686,328	3,416,778	▲ 3,269,550	51%

4 修善寺・湯ヶ島温泉線

【起 点】	修善寺駅
【経 過 地】	本立野
【終 点】	湯ヶ島温泉
【系 統 キ ロ】	14.7km
【運 行 回 数】	3.0回／日
【運 行 日 数】	365日／年
【特 徴】	湯ヶ島温泉から修善寺駅間を運行。小・中・高校生の主要な通学手段となっている。

【運行実施者】株東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

R7	往路	1回目	2回目	復路	1回目	2回目
	7:10	2	7	8:01	7	8
	16:40	13	14	10:03	11	11
	18:35	4	2	13:28	1	4
				17:28	0	2
学手						
	3便	19	23	4便	19	25

運行 年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	14.7	366	48,421.8	15,738	2.0	19,651,019	6,723,602	▲ 12,927,417	34%
6	14.7	365	48,289.5	21,170	2.2	20,645,693	7,963,362	▲ 12,682,331	39%
7	14.7	365	37,558.5	15,695	3.1	15,853,067	8,737,331	▲ 7,115,736	55%

5 修善寺・湯ヶ島温泉線

【起 点】	修善寺駅	R
【経 過 地】	吉奈温泉	
【終 点】	湯ヶ島温泉	
【系 統 キ ロ】	16.9km	
【運 行 回 数】	1.5回／日	
【運 行 日 数】	365日／年	
【特 徴】	湯ヶ島温泉から吉奈温泉を経由し修善寺駅間を運行。小・中・高校生の主要な通学手段となっている。	

【運行実施者】株東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

運行 年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	16.9	366	12,370.8	7,686	5.1	5,020,442	4,327,449	▲ 692,993	86%
6	16.9	365	12,337.0	2,920	2.0	5,274,561	1,833,032	▲ 3,441,529	35%
7	16.9	365	12,337.0	4,380	3.4	5,207,324	3,210,985	▲ 1,996,339	62%

6 修善寺・湯ヶ島線

【起 点】	修善寺駅	R7
【経過地】	本立野	
【終 点】	湯ヶ島	
【系統キロ】	12.5km	
【運行回数】	1.5回／日	
【運行日数】	365日／年	
【特 徴】	天城湯ヶ島の湯ヶ島(天城会館)から修善寺駅間を運行。小・中・高校生の主要な通学手段のほか、通勤や湯ヶ島地区の最終便として、沿線住民の生活路線。	

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

運行年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	12.5	366	30,000.0	15,467	2.2	12,518,400	5,134,560	▲ 7,383,840	41%
6	12.5	365	29,912.5	22,050	2.0	12,481,888	6,285,837	▲ 6,196,051	50%
7	12.5	365	13,687.5	7,848	2.9	5,777,357	3,152,021	▲ 2,625,336	55%

7 修善寺・柿木大野線

【起 点】修善寺駅
 【経過地】下柿木
 【終 点】柿木大野
 【系統キロ】13.3km
 【運行回数】3.3回／日
 【運行日数】通年365日／平日242日／年
 【特 徴】天城湯ヶ島の柿木地区の最奥から修善寺駅間を運行。小・中・高校生の主要な通学手段、沿線住民の通勤手段となっている。

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・ダイヤ調整
【路線の状況】

R7	往路	1回目	2回目	復路	1回目	2回目
高校	14:35	8	2	7:00	33	33
	15:35	4	5	15:16	0	2
	16:35	10	9	16:21	3	0
	18:10	3	1	17:07	0	2
4便	25	17	4便	36	37	

8 天城小学校・長野線

【起 点】	天城小学校	R7
【経 過 地】	田沢	
【終 点】	長野	
【系 統 キ ロ】	8.2km	
【運 行 回 数】	1.1回／日	
【運 行 日 数】	202日／年(通学)	
【特 徴】	天城小学校から田沢地区を経由し長野地区を運行。小学校統合による通学手段確保のために運行を開始した路線であり、小学生の主要な通学手段となつ	

【運行実施者】 株東海バス
【協議・変更】 繼続・減便
【路線の状況】

R7	往路	1回目	2回目	復路	1回目	2回目
	14:55	16	0	7:15	16	15
	15:55	1	14	15:19	0	0
	17:00	0	0			
	3便	17	14	2便	16	15

9 修善寺・上大沢線

【起 点】	修善寺駅
【経 過 地】	牧之郷
【終 点】	上大沢
【系 統 キ ロ】	9.8km
【運 行 回 数】	1.1回／日
【運 行 日 数】	通年365日／平日242日／通学202日／年
【特 徴】	修善寺駅から人口密集する牧之郷地区、熊坂区を経由し大沢地区間を運行。沿線住民の通勤・通学手段利用されている。

【運行実施者】株東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

運行年度	運行の状況				収支の状況				
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	9.8	297	17,463.6	22,572	2.1	7,087,253	2,642,730	▲ 4,444,523	37%
6	9.8	247	9,682.4	10,251	1.2	4,139,613	949,964	▲ 3,189,649	23%
7	9.8	365	7,967.4	6,753	0.6	3,362,960	405,705	▲ 2,957,255	12%

10 修善寺・上大沢線

【起 点】	ひなた公園	R
【経 過 地】	修善寺駅・牧之郷	
【終 点】	上大沢	
【系 統 キ ロ】	11.2km	
【運 行 回 数】	0.7回／日	
【運 行 日 数】	通年365日／通学202日／年	
【特 徴】	伊豆中学校南側のひなた公園から修善寺駅、牧之郷地区、熊坂区を経由し大沢地区間を運行。沿線の中学生の通学便として活用。	
【運 行 実 施 者】	(株)東海バス	
【協 議・変 更】	継続・変更なし	
【路 線 の 状 況】		

運行 年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
7	11.2	365	6,843.2	22,813	7.0	2,888,446	3,741,387	852,941	130%

11 修善寺・熊坂線

【起 点】修善寺駅 R7

【経 過 地】牧之郷

【終 点】熊坂

【系 統 キ ロ】4.6km

【運 行 回 数】1.5回／日

【運 行 日 数】通年365日／平日242日／通学202日／年

【特 徴】修善寺駅から人口密集する牧之郷地区を経由し、熊坂間を運行。沿線住民の通勤・通学手段利用されている。

【運行実施者】株東海バス

【協議・変更】継続・一部中伊豆線へ振り替え

【路線の状況】

運行 年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	4.6	204	2,815.2	510	0.9	1,142,493	141,806	▲ 1,000,687	12%
6	4.6	247	3,937.6	2,140	0.9	1,643,082	981,037	▲ 662,045	60%
7	4.6	365	6,348.0	5,110	0.7	2,679,427	473,246	▲ 2,206,181	18%

12 修善寺・紙谷公会堂線

【起 点】	修善寺駅	R'
【経 過 地】	小山	
【終 点】	紙谷公会堂	
【系 統 キ ロ】	4.6km	
【運 行 回 数】	2.0回／日	
【運 行 日 数】	365日／年	
【特 徴】	修善寺駅から修善寺温泉を経由し紙谷地区間を運行。小・中・高校生の主要な通学手段となっている。	

R7	往路	1回目	2回目
	6:17	0	0
	7:00	0	1
	17:40	2	5
	18:38	6	4
高校			
	4便	8	10

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・終点が湯舟口から紙谷公会堂に延伸
【路線の状況】

運行 年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	4.4	366	6,441.6	2,745	1.1	2,614,195	756,984	▲ 1,857,211	29%
6	4.4	365	6,424.0	2,920	1.0	2,746,517	720,928	▲ 2,025,589	26%
7	4.4	365	6,424.0	3,285	1.0	2,711,506	699,463	▲ 2,012,043	26%

13 修善寺・紙谷公会堂線

【起 点】	ひなた公園
【経過地】	修善寺駅・小山
【終 点】	紙谷公会堂
【系統キロ】	6.0km
【運行回数】	0.5回／日
【運行日数】	365日／年
【特 徴】	伊豆中学校南側のひなた公園から修善寺駅、修善寺温泉を経由し 紙谷地区間を運行。沿線の中学生の通学便として活用。

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・終点が湯舟口から紙谷公会堂に延伸
【路線の状況】

14 修善寺・紙谷公会堂線

【起 点】	修善寺駅
【経 過 地】	寺山口
【終 点】	紙谷公会堂
【系 統 キ ロ】	4.8km
【運 行 回 数】	2.0回／日
【運 行 日 数】	365日／年
【特 徴】	修善寺温泉場地域の通行規制(一方通行)に伴い、⑫の復路を寺山口経由に変更し運行。小・中・高校生の主要な通学手段となっている。

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・終点が湯舟口から紙谷公会堂に延伸
【路線の状況】

R7	復路	1回目	2回目
	6:34	6	4
	16:51	7	2
	17:57	3	2
	18:55	0	1
4便	16	9	

15 修善寺・紙谷公会堂線

【起 点】	ひなた公園
【経過地】	修善寺駅・寺山口
【終 点】	紙谷公会堂
【系統キロ】	6.2km
【運行回数】	0.5回／日
【運行日数】	365日／年
【特 徴】	修善寺温泉場地域の通行規制(一方通行)に伴い、⑬の復路を寺山口経由に変更し運行。沿線の中学生の通学便として活用。

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・終点が湯舟口から紙谷公会堂に延伸
【路線の状況】

運行 年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
7	6.0	365	2,190.0	8,578	9.5	924,377	2,019,005	1,094,628	218%

16 修善寺・馬渡橋線

【起 点】	修善寺駅	R
【経 過 地】		
【終 点】	馬渡橋	
【系 統 キ ロ】	4.9km	
【運 行 回 数】	3.5回／日	
【運 行 日 数】	通年365日／通学202日／年	
【特 徴】	修善寺駅から修善寺大野地区の馬渡橋間を運行。小・中学生の主要な通学手段となっている。	

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

17 修善寺・馬渡橋線

【起 点】	ひなた公園	R
【経 過 地】	修善寺駅	
【終 点】	馬渡橋	
【系 統 キ ロ】	6.3km	
【運 行 回 数】	0.5回／日	
【運 行 日 数】	202日／年(通学)	
【特 徴】	伊豆中学校南側のひなた公園から修善寺駅を経由し、大野地区の馬渡橋間を運行。沿線の中学生の通学便として活用。	

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

18 修善寺・下尾野口線

起 点	】修善寺駅
経 過 地	】冷川
終 点	】下尾野口
系 統 キ ロ	】10.4km
運 行 回 数	】0.3回/日
運 行 日 数	】平日242日／年
特 徴	】修善寺駅から中伊豆の下尾野口間を運行。通勤・通学路線。

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

運行 年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	10.4	244	19,656.0	15,494	1.7	7,976,994	2,255,438	▲ 5,721,556	28%
5	10.4	99	1,029.6	6,287	3.6	417,843	243,954	▲ 173,889	58%
6	10.4	247	2,568.8	1,853	2.1	1,098,265	440,426	▲ 657,839	40%
7	10.4	246	2,558.4	2,214	1.7	1,079,875	354,279	▲ 725,596	33%

19 修善寺・下尾野口線

【起 点】修善寺駅
【経過地】中伊豆温泉病院・冷川
【終 点】下尾野口
【系統キロ】10.7km
【運行回数】3.7回/日
【運行日数】通年365日/平日242日/通学202日/年
【特 徴】修善寺駅から中伊豆温泉病院を経由し、中伊豆の下尾野口間を行。通勤・通学路線。

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

20 小川橋・下尾野口線

【起 点】下尾野口
 【経 過 地】小川橋
 【終 点】修善寺駅
 【系 統 キ ロ】13.0km
 【運 行 回 数】0.6回／日
 【運 行 日 数】242日／年(平日)
 【特 徴】中伊豆の下尾野口から小川橋を経由し修善寺駅間を運行。通学、通勤、通院に利用。

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・増便
【路線の状況】

21 修善寺・伊東線

【起 点】	修善寺駅	R7
【経過地】	中伊豆温泉病院・冷川	
【終 点】	伊東駅	
【系統キロ】	13.7km	
【運行回数】	2.0回／日	
【運行日数】	365日／年	
【特 徴】	修善寺駅から中伊豆を経由し伊東駅間を運行。高校生の通学、通勤、観光等一般利用がみられる。	

【運行実施者】(株)東海バス
【協議・変更】継続・減便
【路線の状況】

R7	往路	1回目	2回目	復路	1回目	2回目
	7:30	7	8	7:00	10	7
	9:40	12	12	9:30	7	15
	11:35	19	12	11:40	17	13
	13:15	4	13	13:30	4	7
	16:35	37	51	17:05	5	4
	18:35	7	5	18:15	3	1
光等	6便	86	101	6便	46	47

運行 年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	13.7	122	16,653.0	16,958	2.5	6,758,287	3,057,436	▲ 3,700,851	45%
6	13.7	365	60,006.0	42,888	2.5	25,654,965	9,969,370	▲ 15,685,595	39%
7	13.7	365	59,787.0	51,100	2.8	25,235,495	11,097,783	▲ 14,137,712	44%

22 修善寺・温泉病院線

- 【起 点】修善寺駅
 【経 過 地】小川橋
 【終 点】中伊豆温泉病院
 【系 統 キ ロ】5.5km
 【運 行 回 数】6.7回／日
 【運 行 日 数】通年365日／通学202日／年
 【特 徴】修善寺駅から小川橋を経由し、中伊豆温泉病院間を運行。通院・通学・通勤等の生活路線。
 【運行実施者】(株)東海バス
 【協議・変更】継続・変更なし
 【路線の状況】

R7	往路	1回目	2回目	復路	1回目	2回目
	8:00	1	1	8:30	1	1
	9:05	1	1	9:15	2	3
	10:10	2	2	10:40	3	2
	13:45	3	2	12:05	2	2
	14:55	6	2	15:20	4	1
	15:55	3	3			
	16:48	13	13			
	7便	29	24	5便	12	9

23 中伊豆線

- 【起 点】修善寺駅
 【経 過 地】地蔵堂
 【終 点】筏場
 【系 統 キ ロ】12.8km
 【運 行 回 数】0.5回／日
 【運 行 日 数】365日／年
 【特 徴】修善寺駅から地蔵堂を経由し筏場間を運行。小・中・高校生の主要な通学手段となっている。

R7	往路	1回目	2回目
	6:49	17	16
	1便	17	16

- 【運行実施者】(株)東海バス
 【協議・変更】継続・変更なし
 【路線の状況】

運行年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	12.8	244	22,339.4	6,832	1.4	9,066,015	1,799,958	▲ 7,266,057	20%
5	12.8	122	1,559.2	3,416	1.6	632,754	184,320	▲ 448,434	29%
6	12.8	365	4,664.7	10,950	2.1	1,994,346	687,764	▲ 1,306,582	34%
7	12.8	365	4,664.7	6,023	1.8	1,968,923	609,671	▲ 1,359,252	31%

24 中伊豆線

- 【起 点】修善寺駅
 【経 過 地】中伊豆温泉病院・地蔵堂
 【終 点】筏場
 【系 統 キ ロ】13.1km
 【運 行 回 数】2.9回／日
 【運 行 日 数】通年365日／平日242日／年
 【特 徴】修善寺駅から地蔵堂、中伊豆温泉病院を経由し筏場間を運行。小・中・高校生の主要な通学手段となっている。

R7	往路	1回目	2回目	復路	1回目	2回目
	14:00	3	8	9:32	4	4
	15:10	10	10	15:02	0	7
	16:30	30	45	16:12	5	0
	17:20	9	25			
	4便	52	88	3便	9	11

- 【運行実施者】(株)東海バス
 【協議・変更】継続・変更なし
 【路線の状況】

運行年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	13.1	122	9,796.9	4,209	1.3	3,975,884	986,021	▲ 2,989,863	25%
6	13.1	365	29,443.1	17,155	1.6	12,588,094	3,544,681	▲ 9,043,413	28%
7	13.1	365	28,749.8	29,200	3.4	12,135,020	7,046,066	▲ 5,088,954	58%

25 中伊豆線

【起 点】修善寺駅
【経 過 地】中伊豆温泉病院・貴僧坊
【終 点】筏場
【系 統 キ ロ】13.1km
【運 行 回 数】2.9回／日
【運 行 日 数】通年365日／平日242日／年
【特 徴】修善寺駅から貴僧坊を経由し筏場間を運行。小・中・高校生の主要な通学手段となっている。

【運行実施者】株東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

R7	往路	1回目	2回目	復路	1回目	2回目
学手	9:00	2	4	14:32	1	9
	14:30	8	9	15:42	3	3
	15:40	38	22	17:02	9	7
				17:52	0	0
	3便	48	35	4便	13	19

26 中伊豆線

【起 点】	修善寺駅
【経 過 地】	伊豆中学校・貴僧坊
【終 点】	筏場
【系 統 キ 口】	14.5km
【運 行 回 数】	0.5回／日
【運 行 日 数】	365日／年
【特 徴】	筏場から伊豆中学校・貴僧坊を経由し修善寺駅間を運行。中伊豆地区の中学生向け路線として運行。

【運行実施者】株東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

運行 年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
7	14.5	365	5,285.2	11,498	6.2	2,230,830	2,122,288	▲ 108,542	95%

27 中伊豆線

【起 点】	修善寺駅
【経 過 地】	地蔵堂・筏場
【終 点】	姫之湯下
【系 統 キ 口】	15.3km
【運 行 回 数】	0.3回／日
【運 行 日 数】	平日242日／年
【特 徴】	修善寺駅から地蔵堂・筏場を経由し姫之湯下間を運行。小・中・高校生の主要な通学手段となっている。

【運行実施者】株東海バス
【協議・変更】継続・変更なし
【路線の状況】

運行年度	運行の状況					収支の状況			
	系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率
5	15.3	244	8,759.2	7,686	3.0	3,554,762	1,276,935	▲ 2,277,827	36%
5	15.3	81	1,236.1	2,552	5.2	501,630	395,606	▲ 106,024	79%
6	15.3	247	3,769.2	10,374	6.1	1,611,492	1,370,497	▲ 240,995	85%
7	15.3	246	3,754.0	738	0.6	1,584,509	145,971	▲ 1,438,538	9%

28 中伊豆線

- 【起 点】修善寺駅
 【経 過 地】中伊豆温泉病院・地蔵堂・筏場
 【終 点】姫之湯下
 【系 統 キ ロ】15.6km
 【運 行 回 数】0.5回／日
 【運 行 日 数】通年365日／年
 【特 徴】修善寺駅から地蔵堂・筏場を経由し姫之湯下間を運行。高校生の通学や通勤等の生活路線となっている。

- 【運行実施者】(株)東海バス
 【協議・変更】継続・変更なし
 【路線の状況】

R7	往路	1回目	2回目
	18:15	2	6
	1便	2	6

29 中伊豆線

- 【起 点】修善寺駅
 【経 過 地】伊豆中学校・地蔵堂・筏場
 【終 点】姫之湯下
 【系 統 キ ロ】17.0km
 【運 行 回 数】0.3回／日
 【運 行 日 数】平日242日／年
 【特 徴】修善寺駅から地蔵堂・筏場を経由し姫之湯下間を運行。小・中・高校生の主要な通学手段となっている。中伊豆地区の中学生向け路線として運行。

- 【運行実施者】(株)東海バス
 【協議・変更】継続・変更なし
 【路線の状況】

R7	復路	1回目	2回目
	6:55	73	71
	1便	73	71

運行年度	運行の状況					収支の状況			
系統 キロ (km)	運行 日数 (日)	実車走行 キロ(km)	乗車人員 (人)	平均 乗車 密度	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)	収支率	
5	15.6	122	3,158.7	854	1.2	1,281,887	237,053	▲ 1,044,834	18%
6	15.6	365	9,522.7	2,555	1.0	4,071,344	599,855	▲ 3,471,489	15%
7	15.6	365	5,679.4	1,460	1.3	2,397,218	479,413	▲ 1,917,805	20%

※令和7年度の路線の状況説明数値は見込み。

※運行回数:1往復を1回とし記載。

※運行日数:年365、平日242、通学(登校日のみ運行)202

※経常費用は各系統の実車走行キロ×実車走行キロ当たり経常費用で計算された数値とし記載。

【利用促進策】

- ・高齢者路線バス割引乗車証(いきいきバス)の販売及び購入費の補助。
- ・福祉タクシー、バス、鉄道利用料金の補助。
- ・小中学生、高校生へのバス通学費補助。
- ・公共施設(市役所・生きいきプラザ等)に時刻表(伊豆市公共交通総合時刻表を含む)配布コーナーを設置。
- ・時刻検索サイトにおいて電車との乗り換えも含めたバスの時刻検索ができるバスロケーションシステム導入。
- ・修善寺駅案内所におけるフリーWi-Fiサービス、クレジットカードの取り扱いを実施。
- ・バスの乗り方教室の実施。
- ・事業者情報誌、市広報紙、各団体ホームページ、コミュニティFMでのPR等
- ・市内中学生に路線バスフリーパスの配布
- ・修善寺駅でのイベントに合わせたバス利用促進券の配布

【収支改善策】

- ・バス車両の回送経費の削減及び乗車効率を高めるため引続き留車制度を実施。
- ・キャッシュレス決済利用を開始したことに併せ、修善寺駅案内所でのICカードのチャージの対応を実施。
- ・令和7年度の伊豆中学校の開校等に合わせ、市内の路線バス再編を実施。
- ・自主運行バスガイドライン策定による路線バス再編の検討を実施。

令和8年度伊豆市自主運行バスの主な変更点

1 令和7年度第1回伊豆市地域公共会議での報告内容

【修善寺方面】(C11・C12湯舟口線、C84上大沢線、C85熊坂線(C36含む)、C92馬渡線)

①C85熊坂線の朝一便の利用が少ないため、不足している中伊豆地区への振替えを検討する。

②朝の下り便、夕方の上りは利用者がいないが、スクール対応の上下便の運用のため維持確保が必要。ただし、効率的な運行を引き続き検討する。

【中伊豆方面】(C23、C24、C25、C26、C27、C71、C74、C75、I41)

③中学校への朝の通学便是乗り切れていない現状があるため、熊坂線からの振替え等、増便を検討するとともに、下校時の運行ダイヤの調整も行う。

④C74中伊豆温泉病院線は、下り最終便是中学生利用が多く維持確保が必要であるが、基本的にスクール対応に影響がなく利用がない下りの朝の1・2便および上りの最終便是減便を検討する。

⑤I41伊東線は修善寺駅と伊東駅を結ぶ広域長大路線であるが、全区間利用者は少ないため、下尾野口以遠の廃止等、運行路線の分割や減便を検討する。

⑥その他路線もスクール対応の上下便の運用のため維持確保が必要であるが、効率的な運行の検討を行う。

【天城・湯ヶ島方面】(C53、C54、C55、C56、C58、C59、C60、C61)

⑦C61柿木大野線の15時台の利用が少ないため、減便を検討する。

⑧その他路線もスクール対応の上下便の運用のため維持確保が必要であるが、効率的な運行の検討を行う。

2 対応方針

(1) 中伊豆方面の増便及びダイヤ調整（令和8年4月）

- ・C85熊坂線の7:00熊坂発修善寺駅行を中伊豆方面から修善寺駅に向かう便に振替え（上記①、③への対応）
- ・中伊豆方面及び熊坂方面の下校便（昼～夕）を中学校の下校実態に合わせ、5分～30分程度ダイヤ調整（上記②、⑥への対応）

(2) I41伊東線の分割及び減便（令和8年4月）

全往復6便に対し、昼2便を残し、朝夕便は分割及び減便を行う（上記⑤への対応）

1) 市内折り返し便への振り替え（代替え便の用意）

【修善寺駅発】7:30発、16:35発

【伊東駅発】17:05発（下尾野口17:39経由）

※朝夕の通学利用があるため、市内完結便として C75 下尾野口線を代替として用意する

2) 減便

【修善寺駅発】9:40 発、18:35 発

【伊東駅発】7:00 発、9:30 発、18:15 発

※小中学生の通学時間から外れ、伊東市と越境している人も少ないとから伊東市と協議の結果、減便する

3) 伊東市越境便として維持

【修善寺駅発】11:35 発、13:15 発

【伊東駅発】11:40 発、13:30 発

※伊東市と越境している人が多く、観光客の移動需要があると思われる時間帯のため、減便せずに維持する

(3) 中伊豆温泉病院線及び柿木大野線の減便（令和8年度中に対応予定）

令和7年11月～12月にかけて、C74 中伊豆温泉病院線路線と C61 柿木大野線の乗降調査を実施した。現在、調査結果の集計及び分析中であるため、結果を踏まえて令和8年度中に対応を行っていく予定（上記④、⑦への対応）

(4) その他（令和8年4月）

- ・C60 長野線の 17:00 天城小学校発を伊豆中学校生徒のために今年度新設したが、利用がないため、減便（上記⑧への対応）。
- ・C61 柿木大野線の沿線におけるバス停の新設を行う。国道414号から本柿木の集落に向かう市道との交差点から本柿木集落方面に入ってすぐの場所に「本柿木入口」バス停を新設する。
- ・C61 柿木大野線の運行ダイヤが実際の運行に時間がかかっているため、ダイヤ調整を行う。
- ・C11、C12 湯舟口線の終点を延伸し、「紙谷公会堂」バス停を新設する。なお、新バス停については、現状の終点「湯舟口」バス停からバスが回送の回し場として使用している。

3 参考：現行のダイヤ

1) 往路（修善寺駅⇒中伊豆方面）

系統番号	C25	I41	C71	C24	I41	I41	I41	C25	C24	C71
運行日	通	通	通	通	通	通	通	平	通	学
修善寺駅	6:49	7:30	8:22	9:00	9:40	11:35	13:15	14:00	14:30	14:33
柏久保	6:52	7:32	8:24	9:03	9:42	11:37	13:17	14:03	14:33	14:35
八幡	7:02	7:45	8:37	9:15	9:55	11:50	13:30	14:15	14:45	14:48
下尾野口	-	7:53	8:45	-	10:03	11:58	13:38	-	-	14:56
筏場	7:19	-	-	9:32	-	-	-	14:32	15:02	-

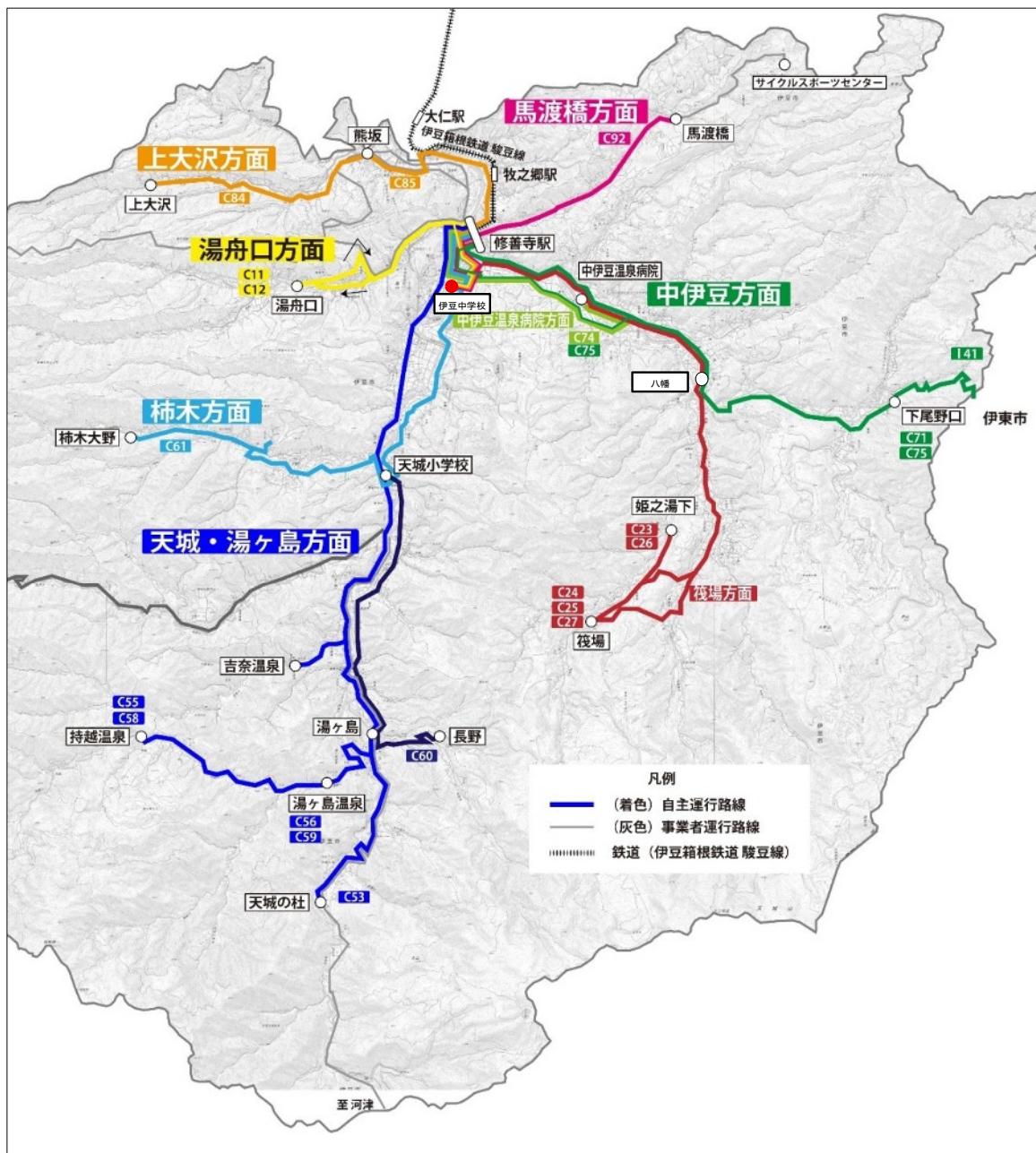
系統番号	C25	C71	C24	C25	I41	C25	C71	C23	I41	C71
運行日	平	通	平	通	通	通	平	通	通	通
修善寺駅	15:10	15:23	15:40	16:30	16:35	17:20	17:45	18:15	18:35	19:25
柏久保	15:13	15:25	15:43	16:33	16:37	17:23	17:47	18:18	18:37	19:27
八幡	15:25	15:38	15:55	16:45	16:50	17:35	18:00	18:30	18:50	19:40
下尾野口	-	15:46	-	-	16:58	-	18:08	-	18:58	19:48
筏場	15:42	-	16:12	17:02	-	17:52	-	18:47	-	-

2) 復路（中伊豆方面⇒修善寺駅）

系統番号	C23	C71	C75	C26	C27	I41	C71	C25	I41	I41	I41
運行日	平	平	平	平	通	通	通	通	通	通	通
筏場	6:10	-	-	7:00	7:19	-	-	9:32	-	-	-
下尾野口	-	6:35	7:02	-	-	7:34	8:49	9:46	10:04	12:14	14:04
八幡	6:24	6:43	7:10	7:14	7:33	7:42	8:57	-	10:12	12:22	14:12
柏久保	6:36	6:54	-	7:26	7:45	7:55	9:10	10:00	10:25	12:35	14:25
伊豆中学校	-	-	7:24	7:28	7:47	-	-	-	-	-	-
修善寺駅	6:44	6:56	7:31	7:35	7:54	7:57	9:12	10:04	10:27	12:37	14:27

系統番号	C24	C24	C71	C24	C71	C25	C24	I41	C25	C71	I41
運行日	平	通	学	平	通	平	通	通	通	平	通
筏場	14:32	15:02	-	15:42	-	16:12	17:02	-	17:52	-	-
下尾野口	-	-	15:25	-	15:55	-	-	17:39	-	18:11	18:49
八幡	14:46	15:16	15:33	15:56	16:03	16:26	17:16	17:47	18:06	18:19	18:57
柏久保	15:00	15:30	15:46	16:10	16:16	16:40	17:30	18:00	18:20	18:32	19:10
伊豆中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
修善寺駅	15:04	15:34	15:48	16:14	16:18	16:44	17:34	18:02	18:24	18:34	19:12

4 参考：路線図



（2）地域公共交通計画に関する第三者評価委員会への提出資料について

1 第三者評価委員会とは

地方公共団体による地域公共交通計画の評価結果を有識者等の第三者が審議し、地域全体の公共交通に対する評価・助言を行うことを目的として開催される。

令和8年2月13日に開催される本委員会において、伊豆市地域公共交通計画も審議及び評価される事となったため、別添1の資料の提出について、伊豆市地域公共交通会議にて協議を行う。

2 関係規定

○地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（地域交通法）

（地域公共交通計画の評価等）

第七条の二 地方公共団体は、地域公共交通計画を作成した場合においては、毎年度、当該地域公共交通計画の区域における地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生に関する施策の実施の状況についての調査、分析及び評価を行うよう努めるとともに、必要があると認めるときは、地域公共交通計画を変更するものとする。

2 地方公共団体は、前項の調査、分析及び評価を行ったときは、速やかに、その結果を主務大臣に送付しなければならない。

3 主務大臣は、前項の規定による送付を受けたときは、その送付に係る事項について、地方公共団体に対し、助言をすることができる。

○地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針

二 地域公共交通計画の作成に関する基本的な事項

1 地域公共交通計画の記載事項

（5）地域公共交通計画の達成状況の評価に関する事項

地域公共交通計画の達成状況の評価の方法としては、地域公共交通計画に定めた数値目標と実績値を比較して行うことが考えられる。ただし、評価に当たっては、地域公共交通が、定量的に把握することが困難な価値や外部効果を有することにも留意しながら、アウトカム指標の状況の検討を通じて、P D C Aサイクルを回すことが必要である。評価を行う時期については、原則として、毎年度、地域公共交通計画に定められた施策の実施状況に関する調査、分析及び評価を行うこととし、その評価結果に基づき、地方公共団体や地域の関係者が議論を行った上で必要と認めるときは、当該地域公共交通計画の内容を変更することが望ましい。なお、地方公共団体が評価を行った際には、その結果を国土交通大臣に送付することとなるが、必要に応じて、当該結果に基づいて、国土交通大臣から助言を受けることができる。

また、地域公共交通計画の目標を着実に達成する観点からは、毎年度の定期的なフォローアップに加え、七に定める事項に留意しつつ、地域公共交通計画に位置付けられた各種事業の実施状況を適切に管理することが重要である。

○地域公共交通確保維持改善事業実施要領

8. 事業評価について

(1) 事業評価の実施

①自己評価（一次評価）

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、評価（以下「自己評価」という。）を行い、当該自己評価の結果を、地域公共交通確保維持事業及び地域公共交通調査等事業にあっては、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに、地域公共交通バリア解消促進等事業にあっては、補助金の交付を受けた会計年度の翌年度の1月末までにそれぞれ協議会から、地方運輸局、神戸運輸監理部、地方航空局又は沖縄総合事務局（以下「地方運輸局等」という。）に報告するとともに、公表することとする。

②二次評価

ア. 実施対象

バリアフリー化設備等整備事業及び鉄道軌道安全設備等整備事業を除く各事業については、自己評価（一次評価）等を基に二次評価を行うこととする。

イ. 実施方法

二次評価を実施する際には、当該評価の客観性・妥当性を担保するため、地方運輸局等に各担当部長等及び学識経験者等の有識者からなる第三者評価委員会を設置することとし、当該委員会においては、地方運輸局等が作成した二次評価案等について審議する。地方運輸局等においては、その結果を踏まえて評価を実施することとする。 …以下、略

別添 1

令和7年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

伊豆市地域公共交通会議 (伊豆市)

平成24年8月30日設置

令和4年3月31日 伊豆市地域公共交通計画策定
(計画期間: 令和4年4月～令和9年3月)

伊豆市の概要

令和7年4月1日時点

面 積	363.97 km ² (県下 5位/35)
世帯数	13,405 世帯
総人口	27,404 人(合併時 37,869 人 比較▲10,465 人)
公共交通	<p>鉄道：伊豆箱根鉄道駿豆線（牧之郷駅、修善寺駅）</p> <p>バス：東海バス59系統 (自主運行バス29系統、国庫補助路線3路線10系統)</p> <p>タクシー事業者：3社、福祉タクシー事業者：2社</p> <p>※修善寺駅を主な中心として、枝状に公共交通が分岐している</p>

伊豆市地域公共交通計画の基本方針

伊豆市コンパクトタウン & ネットワーク型公共交通の構築

基本方針 1

- 拠点（都市、地域拠点）に繋がる幹線、支線の公共交通ネットワークの形成

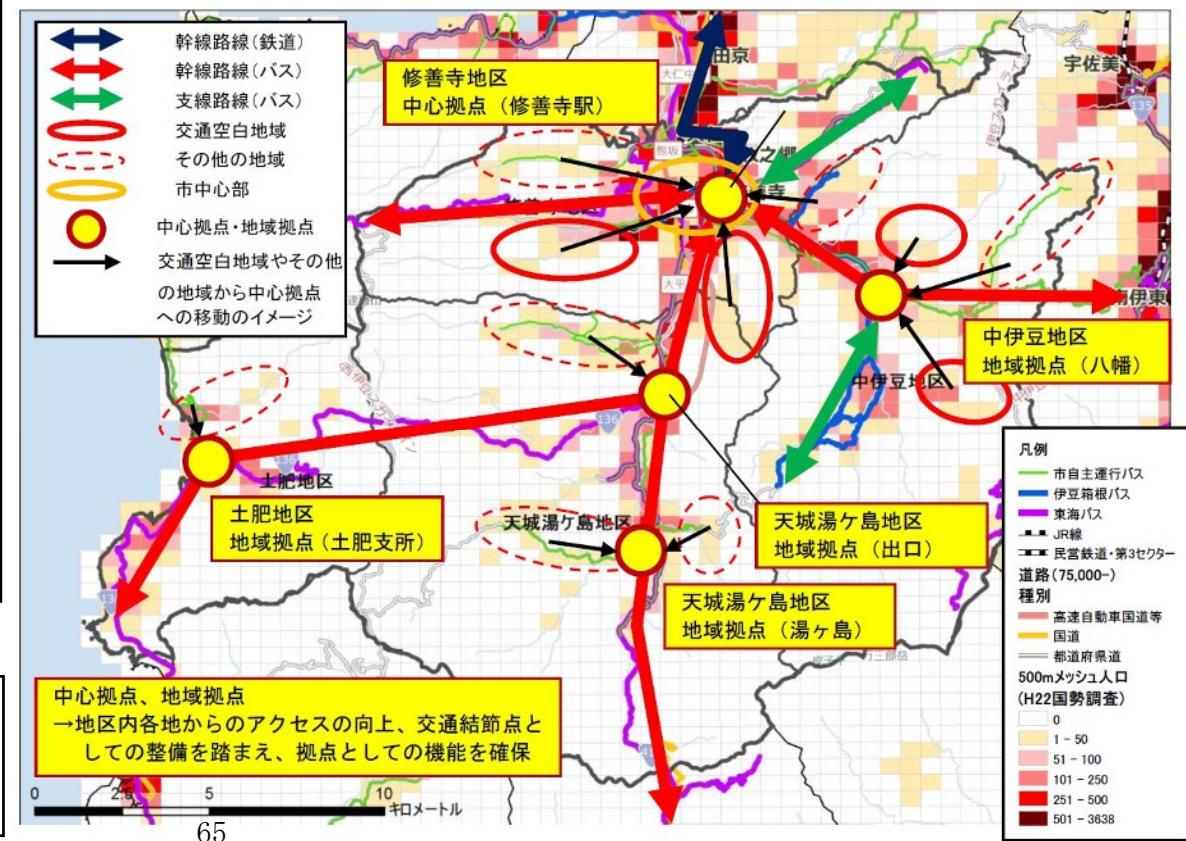
基本方針 2

- 分かりやすく、使いたいと感じる公共交通づくり

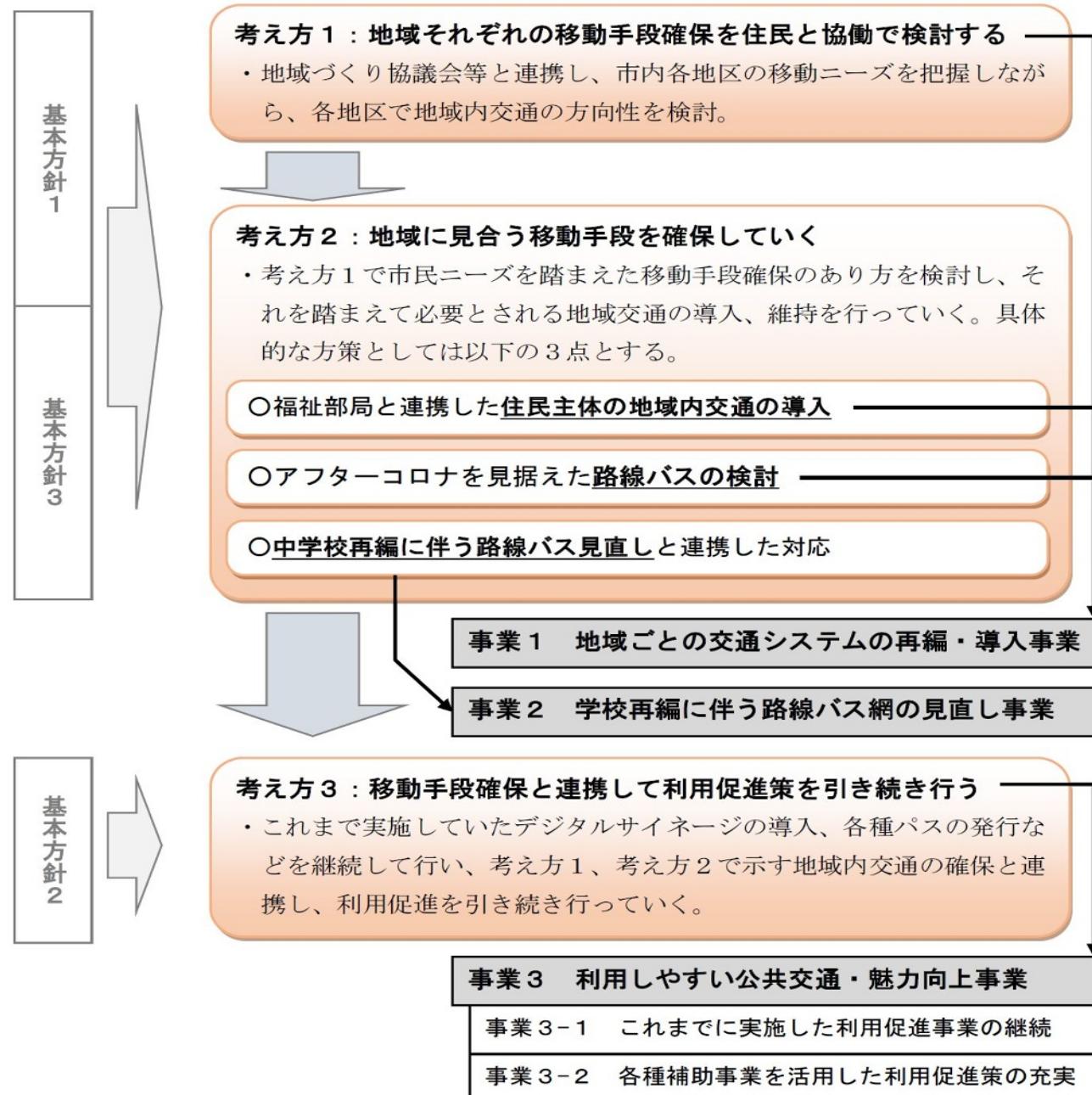
基本方針 3

- 地域、関係者の協働による持続可能な公共交通の仕組みづくり、利用促進

- 目標 1 サービス改善地域の増加
 目標 2 利用者数の維持・増加
 目標 3 地域協働の着実な推進



実施する事業メニュー



取り組み名称	取り組みの概要	実施結果	考察、今後の検討課題
<p>【事業1】 地域ごとの交通システムの再編・導入事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 湯ヶ島地区及び月ヶ瀬学区地域づくり協議会の買物支援サービスの本格運行 八岳地区において修善寺駅イベント時に実験的に移動支援車を運行し買物利便性向上 <p>■湯ヶ島・月ヶ瀬地区買物支援サービス</p> <p>■八岳地区移動支援車案内チラシ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域主体の取り組みが3地区増加(2地区⇒5地区) イベント時実験運行1地区 	<p>一定程度の需要があるが、運転手の確保や周知等持続可能性が課題</p>
<p>【事業2】 学校再編に伴う路線バス網の見直し事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中学校統合に伴う路線バスの再編 路線バス再編後の乗降状況の調査及びヒアリングを実施し、更なる路線バス網の調整を行う。 ガイドラインに基づき、減便や廃止等の可能性がある箇所を判断し、路線バス以外の移動手段の方向性の検討 	<ul style="list-style-type: none"> バス利用者は減少傾向にあるが、市民一人当たりの利用回数は18.6回/年から22.6回/年に増加 	<ul style="list-style-type: none"> 通学時に乗降者数の偏りが発生しているため、アンケート等を踏まえ増便等ダイヤの見直しを検討 利用の少ない路線や区間についての路線の分割、減便等の再編について検討

取り組み名称	取り組みの概要	実施結果	考察、今後の検討課題
【事業 3】 利用しやすい 公共交通・ 魅力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> 子供向けのバスの乗り方教室に加え、高齢者向けのバスの乗り方教室を実施 バス利用促進券の配布による、修善寺駅イベントへの参加に路線バスを利用するよう促す <p>【事業 3-1】 これまでに実施した利用促進事業の継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> バス利用促進券の利用は、複数回開催しているが、徐々に利用数が増加している 普段バスに乗らない子連れ世帯の乗車が増加 	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスの利用機会創出に効果がみられるため、今後も継続して実施する
【事業 3-2】 各種補助事業を活用した利用促進策の充実	<ul style="list-style-type: none"> いきいきバス、小中高校生通学補助についてHP等で案内を実施した 中学生にエリア定期券（市内フリーバス）を交付 	<ul style="list-style-type: none"> 部活、塾通いにバスを利用しやすくなつたとの声が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の通学以外の利用に効果があり、日常的に路線バスを使う習慣化に寄与している



200円/回乗車券8枚付き
(イベント開催2日間有効)

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

6

目標 1：サービス改善地域の増加

		R3	R4	R5	R6	目標値
1-1	公共交通等のサービス改善による 人口カバー率 (%)	71.2	—	69.0	70.4	75.0
1-2	日中における公共交通等による 高齢者人口のカバー率 (%)	62.7	—	68.8	70.1	70.0

高齢者カバー率は達成しているが、人口カバー率は未達成

- 【考察】
- ・公共交通の維持に限界があり、路線廃止等を行っているため空白地域の増加
 - ・地域主体の取組のほか、新たな移動手段の構築が必要

目標 2：利用者数の維持・増加

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
2-1	市自主運行バスの利用 者数 (人/年)	360,886	286,064	252,812	295,874	291,224	265,305	372,000
2-2	市民1人あたりの路線バ スの利用回数 (回/人)	18.6	14.1	18.3	19.7	20.3	22.5	22.6

人口減少の影響もあり利用
者は減少して
いるが、利用
回数は目標達
成が近い

- 【考察】
- ・自主運行路線の減便等により、利用者数が減少した
 - ・自主運行以外の路線は利用者数が増加している

目標 3：地域協働の着実な推進

		R3	R4	R5	R6	目標値
3-1	地域協働による公共交通の維持や改善に 関する検討の実施 (地区数)	2	3	3	5	8

3地区増加し
たが目標は未
達成

- 【考察】
- ・必要性を感じる地域が増えてきた
 - ・一方で地域主体で行う取組に対しての地域の限界が見える

計画における課題解決のための取り組み

- 現行の「伊豆市地域公共交通計画」は、令和7年度末で計画期間が終了するが、令和7年4月に伊豆中学校が開校し、その登下校に合わせたダイヤ改正や路線の見直しなど、自主運行バスの再編が必要となったことから、市内の路線バスの状況が大きく変化する見込みとなった。このため、実態データを収集し次期計画へ反映させる必要があることから、現計画の期間を1～2年程度延長することを、令和6年度第2回伊豆市地域公共交通会議で決定した。
- 伊豆中学校の登下校時のバス利用に関する課題が明らかになってきているほか、中学生に対する「エリア定期券事業」も開始され、また、昨年度からは地域主体による地域交通の取組が進みつつある。
- 以上の状況を踏まえ、現行計画の延長期間は1年とし、令和8年度中に新たな計画を策定、令和9年度から計画期間を開始することとしている。

現計画における取り組み事業	現計画期間中の取り組み内容
【事業1】 ・地域ごとの交通システムの再編・導入事業	・地域づくり協議会等を対象に実証運行を行い、新たな地域交通導入に向けた効果検証を行う。
【事業2】 ・学校再編に伴う路線バス網の見直し事業	・路線バス再編後の乗降状況の調査及びヒアリングを実施し、更なる路線バス網の調整を行う。
【事業3】 ・利用しやすい公共交通 ・魅力向上事業	【事業3-1】 ・これまでに実施した利用促進事業の継続
	【事業3-2】 ・各種補助事業を活用した利用促進策の充実

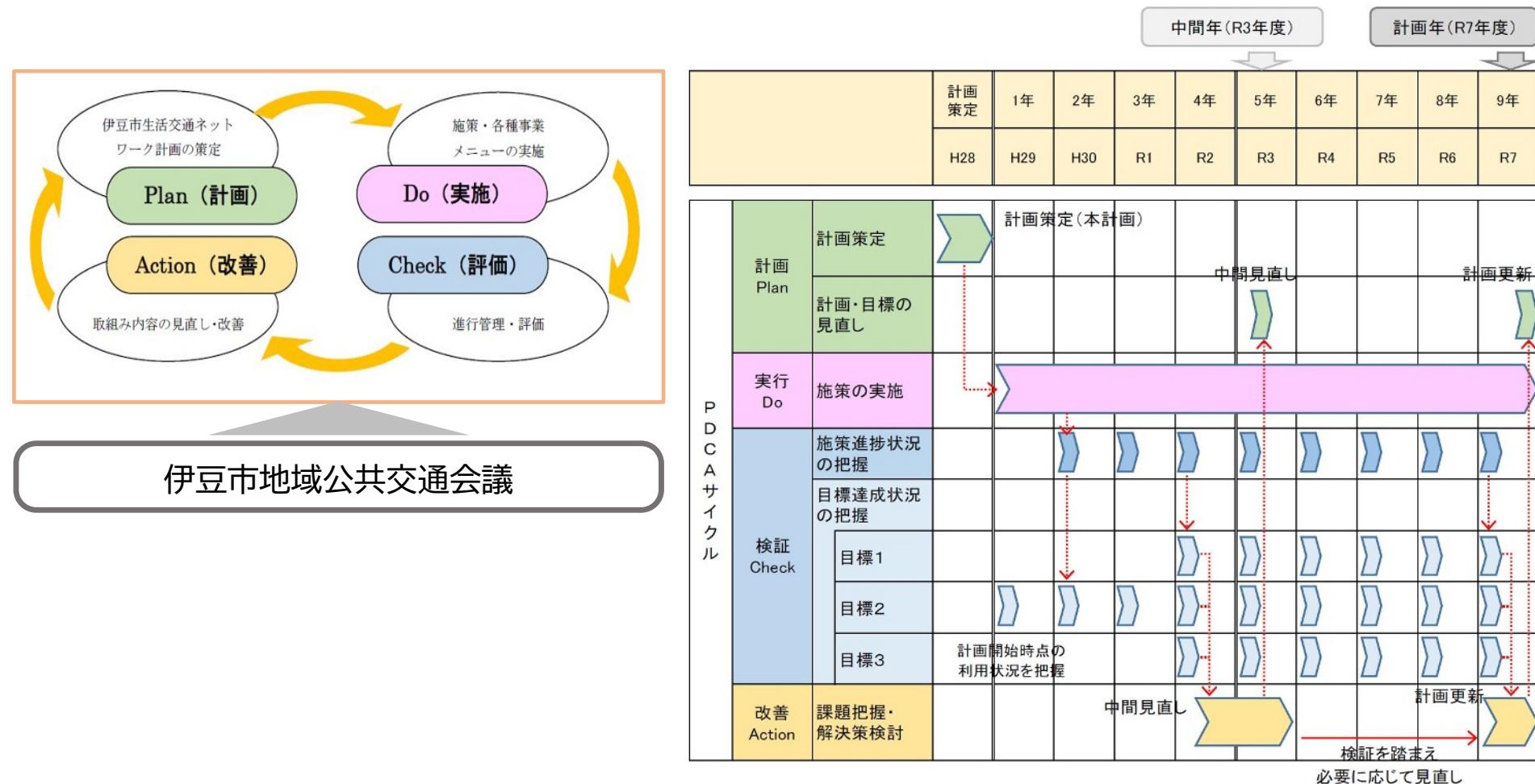
計画改定に伴う事業項目

実施年度	実施内容	事業目的
令和7年度	・路線バス再編後の中学生の保護者へのヒアリング	・利用状況や満足度等により、路線バス網の見直しや、路線バス以外も含めた移動手段を検討する
	・ガイドラインによる再編後の自主運行路線の評価（見込み値）	・減便や廃止等の可能性がある箇所を判断し、路線バス以外の移動手段の方向性を検討する
令和8年度	・地域主体による移動支援に関する市民アンケート	・交通空白地における地域主体による取組の必要性や、実施意向等の確認を行う
	・ライドシェア等の実証実験	・路線バスの減便、廃止等の影響だけでなく、交通空白地の解消の手段、実現可能性を検証する
	・計画改定案の確認、協議	・地域公共交通計画の策定

※直近 2 年間で二次評価を受けたことはありません。

計画の推進体制と進行管理

計画の目的、目標の達成のためには、伊豆市地域公共交通会議を中心に、市民、交通事業者、行政等の役割分担、連携により取り組んでいくことが必要であり、計画を効果的に実現していくために「基本理念、基本方針、目標」を関係者が共有し、その達成に向けて関係者がパートナーとして連携しながら、各々の役割を果たしていくとともに、計画の状況把握および取り組みを進める。



交通会議の実施状況（令和6年度、7年度）

年度	回	日時	主な議題
6年度	第1回	令和6年7月23日	<ul style="list-style-type: none"> ○市の現状及び計画の進捗状況について ○下尾野口・沢口線の系統廃止について ○沼津市自主運行バスについて
	第2回	令和7年1月27日	<ul style="list-style-type: none"> ○柿木循環線の廃止について ○市内路線バスの次年度運行について <ul style="list-style-type: none"> ①地域間幹線系統確保維持改善事業 ②事業者運行路線（単独継続困難） ③伊豆市自主運行路線 ○伊豆市生活交通ネットワーク形成計画（伊豆市地域公共交通計画）の延長について
7年度	第1回	令和7年10月28日	<ul style="list-style-type: none"> ○市の公共交通の現状及び伊豆市生活交通ネットワーク形成計画（伊豆市地域公共交通計画）の進捗状況について ○伊豆中学校開校に伴う路線再編後の状況と方向性について ○ハッピーライドin静岡プロジェクトについて ○伊豆市生活交通ネットワーク形成計画（伊豆市地域公共交通計画）の延長について
	第2回	令和8年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ○市内路線バスの次年度運行について <ul style="list-style-type: none"> ①地域間幹線系統確保維持改善事業 ②事業者運行路線（単独継続困難） ③伊豆市自主運行路線

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

伊豆市地域公共交通計画の評価等結果（2025年4月～2026年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
公共交通等（地域協働による移動手段を含む）のサービス改善による人口カバー率：75%	・地域ごとの交通システムの再編・導入事業 ・学校再編に伴う路線バス網の見直し事業	事業執行状況による	未達成 R6時点：70.4%	・湯ヶ島地区及び月ヶ瀬学区地域づくり協議会とボランティア輸送による買い物支援サービスの本格運行を実施 ・八岳地区的取り組みに向けた検討を進め実証実験に繋げる ・一方で地域主体の取組に限界が見えてきているため、新たな手法を模索する必要がある	
日中における公共交通等（地域協働による移動手段を含む）による高齢者人口のカバー率：70%		事業執行状況による	達成 R6時点：70.1%		
地域協働による公共交通の維持や改善に関する検討の実施：8地区	各種補助事業を活用した利用促進策の充実	事業執行状況による	未達成 R6時点：5地区		
市自主運行バスの利用者数：372,000人		バス事業者の有する乗降データを用いて計測	未達成 R6時点：265,305人	・利用実態に合わせたスクール対応ダイヤの見直し検討 ・子ども向けのバスの乗り方教室に加え、高齢者向けのバスの乗り方教室実施、デジタルサイネージでバスの運行状況を提供 ・路線バスの減便、廃止等の影響だけでなく、交通空白地の解消の手段、実現可能性を検証	
市民1人あたりの路線バスの利用回数：22.6回/年	これまでに実施した利用促進事業の継続	バス事業者の有する乗降データを用いて計測	未達成 R6時点：22.5回	・いきいきバスおよび高校生通学補助についてHP等で案内の実施 ・免許返納者を対象に、生きいきバス、タクシー券等の案内の送付	

(記載に当たっての留意事項)

- 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。